

予算説明資料

令和8年度4月補正予算

倉吉市

目次

1	会計別一覧表.....	3
2	基金の状況.....	4
3	事業説明.....	5
4	債務負担行為資料.....	60
5	交付金充当事業一覧.....	61

令和8年度 4月補正予算 会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	32,128,531	1,476,638	33,605,169
特 別 会 計 小 計	11,487,166	0	11,487,166
企 業 会 計 小 計	6,958,882	0	6,958,882
合 計	50,574,579	1,476,638	52,051,217

基金の状況【令和8年度4月補正】

(単位：千円)

区 分	令和7年度末 現在高 A	令和8年度		令和8年度末 見込額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
文化基金	3,449	9	0	3,458	
博物館資料整備基金	4,426	11	0	4,437	
緑を守り育てる基金	18,290	43	1,538	16,795	
職員退職手当基金	145,977	1,107	0	147,084	
公共施設等建設基金	27,378	58	0	27,436	
教育振興基金	177,059	615	1,288	176,386	
ふるさと農村活性化基金	17,985	38	0	18,023	
若者の定住化促進基金	402,394	1,132	77,600	325,926	
遙かなまち倉吉ふるさと基金	1,636	5	0	1,641	
企業立地推進基金	11,682	25	0	11,707	
地域産業振興基金	21,391	58	0	21,449	
倉吉ふるさと未来づくり基金	663,500	906,613	1,039,453	530,660	取崩134,984千円
三松奨学育英基金	50,816	5,720	4,254	52,282	
森林環境整備基金	19,000	51,731	57,769	12,962	
財政調整基金	1,627,039	79,771	571,565	1,135,245	取崩178,858千円
減債基金	1,229,199	135,119	426,160	938,158	積立132,628千円
計	4,421,221	1,182,055	2,179,627	3,423,649	

(単位：千円)

区 分	令和7年度末 現在高 A	令和8年度		令和8年度末 見込額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
国民健康保険財政調整基金	536,720	27,584	199,000	365,304	
介護保険財政調整基金	579,736	1,230	79,714	501,252	
公営企業等財政調整基金	39,171	86	0	39,257	
高城財産区財政調整基金	30,472	72	2,446	28,098	
土地開発基金	21,958	50	1,000	21,008	
計	1,208,057	29,022	282,160	954,919	

令和 8 年 度 4 月 補 正 予 算 事 業 一 覧 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
一般	歳入	14	2	1		財政	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	8	45,686	0
〃	歳出	2	1	1	2	総務	庁舎等管理	8	43,794	9,594
〃	〃	2	1	7	60	企画	地方創生推進事業	9	12,700	350
〃	〃	2	1	7	64	企画	【交付金事業】公共交通利用促進支援事業	10	12,843	0
〃	〃	2	1	9	9	企画	総合交通対策（企画政策）	12	5,852	3,902
〃	〃	2	1	1	15	情報	行政情報システム管理	13	1,815	1,815
〃	〃	9	1	2	1	防災	非常備消防	13	7,831	4,561
〃	〃	9	1	3	1	防災	消防施設整備（防災対策）	14	17,955	55
〃	〃	9	1	4	1	防災	水防対策	14	21,989	14,207
〃	〃	9	1	5	1	防災	災害対策	15	15,182	1,592
〃	〃	2	1	1	20	関金	関金エリア施設維持管理（関金エリアトイ レ・公園管理）	16	884	184
〃	〃	2	1	1	20	関金	関金エリア施設維持管理（関金公園等管理）	16	495	495
〃	〃	2	3	1	2	市民	戸籍住民登録事務（市民）	17	925	925
〃	〃	2	2	2	1	税務	賦課徴収	17	3,745	3,745
〃	〃	2	1	7	54	地域 づくり	コミュニティセンター管理	18	83,550	650
〃	〃	2	1	7	64	地域 づくり	【交付金事業】自治公民館照明設備LED 化促進事業	19	8,334	0
〃	〃	3	1	7	10	人権	あたごふれあい人権文化センター運営	20	6,794	94
〃	〃	3	1	8	3	人権	男女共同参画の推進	20	300	300
〃	〃	4	1	4	18	環境	脱炭素先行地域	21	467,314	0
〃	〃	4	2	2	1	環境	塵芥処理	22	23,944	937
〃	〃	6	1	3	19	農林	特産品生産振興対策事業	23	864	864
〃	〃	6	1	3	31	農林	小規模零細地域営農確立促進対策	23	940	470
〃	〃	6	1	3	53	農林	集落営農体制強化支援事業	24	2,400	800
〃	〃	6	1	3	73	農林	雪害園芸施設等復旧対策事業	24	4,332	2,166
〃	〃	6	1	3	98	農林	農業産品高付加価値化推進事業	25	303	303
〃	〃	6	3	2	7	農林	内水面漁業活動支援事業	25	1,000	1,000
〃	〃	7	1	2	2	しごと	商工業振興	26	18,205	103
〃	〃	7	1	2	3	しごと	企業誘致	28	141,000	11,750
〃	〃	2	1	7	4	観光	韓国姉妹都市等交流	29	2,890	2,845
〃	〃	2	1	7	11	観光	文化芸術活動振興	30	300	300
〃	〃	2	1	7	43	観光	文化活動センター	31	902	902

令和 8 年 度 4 月 補 正 予 算 事 業 一 覧 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
〃	〃	2	1	7	51	観光	スポーツ活動振興	32	4,880	180
〃	〃	7	1	3	2	観光	地域資源観光活用事業	33	133,532	3,132
〃	〃	7	1	3	7	観光	飲食・物販施設管理	34	4,510	510
〃	〃	7	1	3	8	観光	観光施設維持管理事業（関金地区）	35	16,262	472
〃	〃	7	1	3	25	観光	地域資源観光活用事業（関金地区）	36	3,952	552
〃	〃	7	1	3	38	観光	せきがね温泉宿泊施設運営事業	37	36,860	60
〃	〃	10	4	3	1	文化財	文化財保護	37	249	249
〃	〃	10	4	3	42	文化財	史跡大御堂廃寺跡整備事業	38	1,059	59
〃	〃	3	1	1	7	福祉	法外扶助	40	8,746	0
〃	〃	3	2	1	35	こども 支援	公立放課後児童クラブ運営	40	558	△ 42
〃	〃	3	2	2	2	こども 支援	保育所運営	41	8,087	887
〃	〃	3	2	3	11	こども 支援	公立児童館運営	41	1,081	△ 2,219
〃	〃	3	1	1	24	長寿	伯耆しあわせの郷管理運営委託	42	24,200	0
〃	〃	3	1	4	7	長寿	老人憩の家管理	42	4,529	29
〃	〃	8	4	2	1	管理	打吹公園管理	43	11,105	1,205
〃	〃	8	4	2	3	管理	まちづくり管理	44	5,225	525
〃	〃	8	4	2	4	管理	公園管理事業	45	3,259	359
〃	〃	8	4	2	5	管理	都市公園管理	46	13,711	411
〃	〃	8	3	1	1	建設	河川総務及び維持	47	500	250
〃	〃	6	1	1	5	地域 整備	土地改良	48	1,260	460
〃	〃	8	1	2	1	建築	建築指導	49	7,005	3,371
〃	〃	10	2	1	2	教総	小学校運営（総務）	50	5,160	2,060
〃	〃	10	3	1	2	教総	中学校運営（総務）	50	3,269	3,269
〃	〃	10	2	2	6	学教	小学校教育研修	51	375	88
〃	〃	10	3	1	3	学教	中学校運営（学校）	51	17	17
〃	〃	10	3	2	7	学教	中学校教育研究	52	3,650	50
〃	〃	10	4	7	6	社教	地域学校協働活動推進事業	52	120	40
〃	〃	10	5	2	1	社教	体育施設維持管理	53	20,260	4,560
〃	〃	10	4	6	4	図書館	パークスクエア管理	54	93,130	530
〃	〃	10	4	6	5	図書館	交流プラザ総務管理	56	2,013	2,013
〃	〃	10	4	4	9	博物館	緑の彫刻賞	56	491	491

令和 8 年 度 4 月 補 正 予 算 事 業 一 覧 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
〃	〃	10	4	4	44	博物館	タイムトラベルSHOWA～遙かなまちへ～展	57	1,704	704
〃	〃	10	5	3	2	給食	給食センター	58	13,088	△ 37,653
〃	〃	1	1	1	2	議会	議会事務局費	59	781	781

担当課	財政課	施策	28_健全な財政運営の継続				
事業名	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金					予算説明書ページ	10
補正予算	会計 一般	款 14 国庫支出金	項 2 国庫補助金	目 1 総務費補助金			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
0	45,686		45,686				0
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」に基づく、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的とする事業を対象とする交付金。</p> <p>【経過・背景】 令和7年11月21日に閣議決定した「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」に係る重点支援地方交付金（国補正予算分）の内、令和7年度から令和8年度へ本省繰越を行ったものの一部について、補正を行うもの。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 重点支援地方交付金を受け入れ、各事業に充当する。</p> <p>【内訳】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 45,686千円 ※推奨事業メニュー分 45,686千円 ※推奨事業メニュー分の充当先事業および充当額は交付金充当事業一覧（P61）のとおり</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							

担当課	総務課	施策	27_効果的・効率的な行政運営の推進																								
事業名	庁舎等管理					予算説明書ページ	15																				
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費																							
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源																				
57,369	43,794				25,200	9,000	9,594																				
事業の目的・意図																											
<p>【目的・意図】 庁舎等を常時使用できるよう維持管理を行うため、必要な業務を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 庁舎建物や電気設備の経年劣化による発錆や塗装剥がれが見られ、そのまま放置すると深刻なトラブルにつながるおそれがある。 北庁舎受変電設備について、設備の安全・安心の確保、経年劣化による突然の事故防止のため、更新工事が必要である。 また、外壁の落下等による危害を防止するため、安全点検として外壁の浮き・剥離診断調査が概ね10年ごとに求められている。</p>																											
事業の概要（積算根拠 等）																											
<p>【事業内容】 庁舎等の施設管理に伴う業務</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>○需用費</td><td>3,129千円</td><td>本庁舎南側耐震補強塗装業務</td><td>2,123千円</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>北庁舎配管・電気BOX等再塗装業務</td><td>1,006千円</td></tr> <tr> <td>○委託料</td><td>12,186千円</td><td>庁舎定期点検委託業務（本庁舎外壁調査）</td><td>9,957千円</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>北庁舎受変電設備更新工事監理委託料</td><td>2,229千円</td></tr> <tr> <td>○工事請負費</td><td>28,479千円</td><td>北庁舎受変電設備更新工事</td><td>28,479千円</td></tr> </table>								○需用費	3,129千円	本庁舎南側耐震補強塗装業務	2,123千円			北庁舎配管・電気BOX等再塗装業務	1,006千円	○委託料	12,186千円	庁舎定期点検委託業務（本庁舎外壁調査）	9,957千円			北庁舎受変電設備更新工事監理委託料	2,229千円	○工事請負費	28,479千円	北庁舎受変電設備更新工事	28,479千円
○需用費	3,129千円	本庁舎南側耐震補強塗装業務	2,123千円																								
		北庁舎配管・電気BOX等再塗装業務	1,006千円																								
○委託料	12,186千円	庁舎定期点検委託業務（本庁舎外壁調査）	9,957千円																								
		北庁舎受変電設備更新工事監理委託料	2,229千円																								
○工事請負費	28,479千円	北庁舎受変電設備更新工事	28,479千円																								
主な特定財源（名称、金額 等）																											
<p>【地方債】庁舎整備事業債 25,200千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 9,000千円</p>																											

担当課	企画課		施策	17_移住定住・交流の促進			
事業期間	令和8年度～ 令和10年度			区分	新規		
事業名	地方創生推進事業					予算説明書ページ	16
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費			
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
0	12,700	財源内訳	6,350			6,000	350

目的・意図

令和9年度に創設予定の「ふるさと住民登録制度」を活用した都市部住民の受入環境を整えることにより、来訪者を増やし、担い手活動等を通じて地域との関わりを深化させ、関係人口・交流人口の拡大及び地域活動の維持・活性化を図るもの。

経過・背景

国において令和9年度から関係人口を可視化する「ふるさと住民登録制度」が創設されることとなった。令和8年3月に鳥取県並びに米子市、倉吉市、琴浦町及び南部町が制度設計のモデル自治体として選定されたところ。本市では、「倉吉アンバサダー」や「ひなビタ♪」など類似の取組をすでに行っており、これらの取組を参考に、総務省及び県と連携しながら、ふるさと住民登録制度を活用した関係人口・交流人口の拡大及び地域活動の維持・活性化を図る必要がある。

【ふるさと住民登録制度】

地方創生2.0基本構想(令和7年6月13日閣議決定)に盛り込まれた制度で、総務省が構築するプラットフォーム(アプリ)を通じて住所地以外の地域に継続的に関わる者を登録し、関係人口を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげるもの。誰でも登録できる「ベーシック登録」と、年3回以上現地に訪問する「プレミアム登録」があり、令和8年度に総務省とモデル自治体で制度設計を行い、令和9年度から本格実施される予定である。

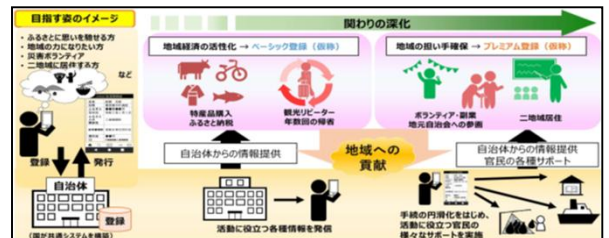
事業効果

- ・国や県と連携し、他自治体より先行した制度活用による関係人口・交流人口の拡大
- ・地域の担い手確保による地域活動の維持・活性化
- ・関係人口の可視化による自治体・地域との繋がり深化による移住定住の促進

事業内容

■地域の担い手活動等の調査・整理

関係人口の関わりを必要とする地域の担い手活動(地域イベントの企画運営、ボランティア活動などを想定)を把握し、実際にその活動に参加した方へのモニタリング評価等を通じて、市への活動登録や活動への関係人口の関わり方、地域の受入条件、サポート施策やコーディネート体制等の調査・整理等を行う。



■デジタル技術を活用した情報発信・関係人口拡大

整理した地域の担い手活動等を、本市と同様にメタバース(3次元仮想空間)の取組を行っている他市(横須賀市、江津市)と連携して都市部でのイベント出展やデジタル技術を活用した情報発信を行うとともに、国が実装するアプリとの連携や情報発信からオンラインによるコミュニティ形成、実際の来訪・滞在へと繋げる効果的な仕組みづくりを進める。

内訳

委託料

- ふるさと住民拡大事業委託料 12,700千円
- ・地域の担い手活動等の調査・整理 5,000千円
- ・デジタル技術を活用した情報発信・関係人口拡大 7,700千円

特定財源

- 【国】地域未来交付金(地域未来推進型) 12,700千円×1/2=6,350千円
- 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 6,000千円

全体事業費

財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降
	事業費		41,300	12,700	14,200
国庫支出金		20,650	6,350	7,100	7,200
県支出金					
地方債					
その他		6,000	6,000		
一般財源		14,650	350	7,100	7,200

担当課	企画課		施策	23_生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実			
事業期間	令和8年度			区分	新規		
事業名	【交付金事業】公共交通利用促進支援事業					予算説明書ページ	15～16
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
0	12,843	財源内訳	11,843			1,000	0
目的・意図							
物価高騰に直面する市内バス事業者等を支援し、公共交通ネットワークを維持するため、買い物、旅行、イベント等の外出時の移動に公共交通機関の利用を促すことにより、物価高騰による影響の緩和を図るもの。							
経過・背景							
<ul style="list-style-type: none"> ・市内バス事業者等の主軸事業である一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス・高速バス）が、物価高騰により営業費用の増加等の深刻な影響を受けている。 ・公共交通利用者が物価高騰による買い物等の支出の増加を懸念して外出を控えることで、利用者が減少し、バス事業者の経営が更に悪化する恐れがある。 ・路線バス及び高速バスの利用促進キャンペーン等を通じて、利用者の交通費負担等を軽減し、日常生活やイベント等に伴う公共交通の利用を促進することで、バス事業者の営業収入の増加を後押しし、物価高騰の影響緩和を図る必要がある。 							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・一般乗合旅客自動車運送事業の営業収入の増加による物価高騰の影響緩和 ・公共交通利用者の交通費負担等の軽減による公共交通の利用促進 ・ICOCA利用促進による正確な乗降データを活用した持続可能な公共交通ネットワークの再構築 							
事業内容							
<p>■公共交通利用促進支援事業（※時期・概要は現時点の予定）</p> <p>①交通系ICカード「ICOCA」の普及・利用促進キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 令和8年6月～ ・概要 プレミアム付「ICOCA」カード（500名分）の販売 ※1枚3,000円分を2,000円で販売 <p>②大規模集客イベントと連携した「うつぶきループバス」の臨時運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 令和8年10月11日から18日までの8日間 ・概要 「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」や福高祭の大規模集客イベントに併せてループバスを臨時運行するとともに、これを活用した高齢者等を対象としたバスの乗り方教室を開催 <p>③高速バスの利用促進キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 令和8年6月～ ・概要 市内を発着又は経由地とする高速バスの運賃割引 <p>【参考】令和5年度実績：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（補助実績：7,353千円、利用者数：6,355人、乗車密度：1便あたり1.67人増加）</p>							
内訳							
<p>■需用費 消耗品費：1,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通系ICカード「ICOCA」：3千円/枚×500枚 <p>■委託料 ループバス運行管理委託料：528千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うつぶきループバス（12便/日運行）：66千円/日×8日 <p>■手数料 販売手数料：165千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICOCA販売：330円/枚×500枚 <p>■補助金 高速バス利用促進支援事業費補助金：10,650千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃割引支援 3,000千円×3社（正規運賃×3/10以内・上限3,000千円/社） ・広告宣伝支援 550千円×3社（経費×10/10・上限550千円/社） 							
特定財源							
<p>【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 11,843千円</p> <p>【その他】物品売払収入（交通系ICカード売払収入）：1,000千円（2千円/枚×500枚）</p>							

全体事業費					
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降
	事業費	12,843	12,843		
財 源 内 訳	国庫支出金	11,843	11,843		
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	1,000		
	一般財源				

担当課	企画課		施策	23_生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実				
事業名	総合交通対策（企画政策）						予算説明書ページ	16
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 9 交通対策費				
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
13,242	5,852			1,950			3,902	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実を図るため、鳥取県中部地域公共交通計画に基づき、令和8年1月に策定した倉吉市地域公共交通利便増進実施計画の改定を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 令和7年3月末に鳥取県中部地域公共交通協議会が策定した鳥取県中部地域公共交通計画に基づき、令和8年1月に関金地区におけるAI予約型乗合タクシーの本格運行や中心市街地における打吹つながるモビリティの運行見直しを盛り込んだ「倉吉市地域公共交通利便増進実施計画」を策定した。今後、社会資本整備総合交付金を活用した待合環境の整備など利便増進事業を実施していくため、引き続き、候補事業として位置付けている市内循環バスの導入検討や交通結節点の整備等に関し、周辺町や交通事業者等と事業化に向けた検討・調整を進め、計画改定を行う必要がある。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】 鳥取県中部地域公共交通計画（令和7年度～令和11年度）に基づき、令和8年1月に策定した倉吉市地域公共交通利便増進実施計画の改定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間：令和7年度～令和11年度 ・計画区域：倉吉市全域 ・計画内容：事業主体、事業内容、事業予定期間、財源、事業効果など ・検討事項：関金庁舎の待合環境整備、北谷・高城地区の交通再編、市内循環バスの導入検討等 <p>【内訳】 委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定業務委託料 5,852千円 業務名：倉吉市地域公共交通利便増進実施計画改定支援業務 （業務予定期間）令和8年6月～令和9年2月 （主な業務内容） <ul style="list-style-type: none"> ・候補事業の検討継続 ・利便増進事業の事業評価 ・計画の改定作業（事業評価に基づく改善、概算事業費の積算等） ・鳥取県中部地域公共交通協議会等の運営支援 								
主な特定財源（名称、金額 等）								
<p>【県】 地域交通体系再編支援補助金 5,852千円×1/3 ≒ 1,950千円</p>								

担当課	情報政策課	施策	27_効果的・効率的な行政運営の推進				
事業名	行政情報システム管理					予算説明書ページ	15
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
74,819	1,815						1,815
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 パソコンで行う単純作業を自動化して業務の効率化を図るとともに、ケアレスミスの縮減により作業品質を確保するもの。</p> <p>【経過・背景】 令和5年に策定した倉吉市DX推進計画に「AI・RPAの導入・利用促進」を掲げ、費用対効果を見極めながら最適なタイミングで導入することとしており、県内他市でも導入が進んでいる。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 ○パソコン上でやっている単純作業を自動化するツール(RPAソフト)を導入する。 ○他団体の例を参考に、効果を見込みやすい業務から利用促進を図る。 ○RPA処理(自動化)を前提とした業務フローの見直しなどを検討する。</p> <p>【内訳】 使用料及び賃借料 RPAソフト利用料 1,815千円 (月額150千円×1.1×11ヶ月)</p> <p>※ RPAとは、「Robotic Process Automation」の略称で、パソコン上の定型業務をソフトウェアのロボットが自動化する技術。 マウス操作やキーボード入力といった人間が行う作業手順を記録し、複数のアプリケーションをまたがった操作を高速かつ正確に実行させることができる。</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							

担当課	防災安全課	施策	25_災害に強いまちづくりの推進				
事業名	非常備消防					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 9 消防費	項 1 消防費	目 2 非常備消防費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
69,953	7,831		3,270				4,561
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 消防団活動用アプリを導入することにより、災害出動時の円滑な情報共有を実現し、本市の災害対応力の向上を図ると共に、消防団員の出動報告をアプリ上で行うことで、団員及び事務局の事務負担軽減を図る。 消防団の組織強化のための装備の充実を図る。</p> <p>【経過・背景】 消防団活動のDX化による災害対応の迅速化及び業務の効率化が求められている。また、全国的に頻発化及び大規模化が進んでいる林野火災への対応が求められている。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 ・消防団活動用アプリの導入 ・消防団活動用デジタル簡易無線機 (42台) の更新 ・林野火災の残火処理に有効な背負い式消火水のう (15台) の整備</p> <p>【内訳】 ・役務費 消防団活動用アプリ利用料等 990千円 ・備品購入費 デジタル簡易無線機 6,006千円 背負い式消火水のう 835千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
<p>【国】 消防団の力向上モデル事業費委託金 990千円 × 10/10 = 990千円 【国】 消防団設備整備費補助金 6,841千円 × 1/3 ≒ 2,280千円</p>							

担当課	防災安全課		施策	25_災害に強いまちづくりの推進			
事業名	消防施設整備（防災対策）					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 9 消防費	項 1 消防費	目 3 消防施設費			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
0	17,955				17,900		55
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 市民の生命・財産を守るために必要な消防力の整備を行うため、公設消防団が使用する小型動力消防ポンプ及び消防ポンプ自動車、自主防災組織に貸与している小型動力消防ポンプの更新整備を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 自然災害の頻発化、激甚化が進む中、地域防災力の要である公設消防団及び自主防災組織の強化が求められている。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公設消防団の使用する小型動力消防ポンプの更新（関金第4分団） 公設消防団の使用する消防ポンプ自動車の更新（関金第2分団）※債務負担行為のみ 自主防災組織に無償貸与している小型動力消防ポンプの更新（井手畑、石塚、岩倉、生田、蔵内） <p>【内訳】 備品購入費 小型動力消防ポンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 公設消防団分 @2,662千円×1台×1.1= 2,929千円 自主防災組織分 @2,732千円×5台×1.1=15,026千円 							
主な特定財源（名称、金額 等）							
【地方債】緊急防災・減災事業債 17,955千円 × 充当率100% ≒ 17,900千円							

担当課	防災安全課		施策	25_災害に強いまちづくりの推進			
事業名	水防対策					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 9 消防費	項 1 消防費	目 4 水防費			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
447	21,989		7,782				14,207
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 河川が氾濫した際等の人的被害を防ぎ、市民が安全かつ迅速に避難できるようにするために「洪水・土砂災害ハザードマップ」を作成する。</p> <p>【経過・背景】 水防法の改正により、新たに県管理河川の洪水浸水想定区域が公表されたため、当該洪水浸水想定区域を反映したハザードマップを作成する必要がある。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 令和7年度末に鳥取県が公表した県管理河川に係る洪水浸水想定区域等、最新の危険箇所を反映した洪水・土砂災害ハザードマップを作成する。</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費 ハザードマップ印刷 10,659千円 委託料 ハザードマップ作成委託料 11,330千円 							
主な特定財源（名称、金額 等）							
【国】社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金 7,782千円							

担当課	防災安全課		施策	25_災害に強いまちづくりの推進			
事業期間	令和8年度～			区分	新規・拡充		
事業名	災害対策					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 9	消防費	項 1	消防費	目 5	災害対策費
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	11,883	財源内訳	6,940	650		6,000	1,592
目的・意図							
避難所の環境改善を図り、被災者の健康を守ると共に避難しやすい環境を整える。また、住宅への感震ブレイカーの設置を支援し、震災に強いまちづくりを推進する。							
経過・背景							
災害関連死を防ぐため、避難所の環境整備が求められている。また、大規模地震時における通電火災等を防ぐため、鳥取県及び県内市町村は、関係団体と共に鳥取県感震ブレイカー普及協議会を設立し、啓発及び普及活動を行っている。							
事業効果							
避難所の環境が改善され、被災者の身体的、精神的負担が軽減される。 感震ブレイカーの設置により、大規模地震時の火災発生を抑止する。							
事業内容							
【避難所環境改善整備事業】 避難所の環境改善を図るため、簡易トイレ（自動圧着密閉式）、簡易ベッド、スポットクーラーを整備する。							
【感震ブレイカー設置費補助金】 鳥取県の補助制度の拡充に合わせて本市の補助制度も拡充する。 補助制度拡充内容 補助率1/2⇒10/10 補助上限額 40千円⇒60千円							
内訳							
【避難所環境改善整備事業】							
・ 需用費 4,779千円							
簡易ベッド 210台							
簡易トイレ（一般用）テント 16台							
簡易トイレ（一般車いす用）テント 8台							
簡易トイレ追加消耗品 6,000回分							
・ 備品購入費 9,103千円							
スポットクーラー 14台							
簡易トイレ（自動圧着密閉式） 24台							
【感震ブレイカー設置費補助金】							
・ 負担金補助及び交付金 1,300千円（拡充後決算見込額－当初決算見込額）							
当初決算見込額 40千円 × 5世帯 = 200千円							
拡充後決算見込額 60千円 × 25世帯 = 1,500千円							
特定財源							
【国】 地域未来交付金 地域防災緊急整備型 13,882千円 × 1/2 ≒ 6,940千円（10千円未満切捨）							
【県】 感震ブレイカー設置事業費補助金 1,300千円 × 1/2 = 650千円							
【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 6,000千円							
全体事業費（令和8年度のみを計上、感震ブレイカー設置費補助金は当初予算計上分を含む）							
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降		
	事業費	15,382	15,382				
	国庫支出金	6,940	6,940				
	県支出金	750	750				
	地方債						
	その他	6,000	6,000				
一般財源	1,692	1,692					



スポットクーラー



簡易トイレ

担当課	関金支所	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進					
事業名	関金エリア施設維持管理（関金エリアトイレ・公園管理）						予算説明書ページ	15
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費				
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
6,231	884				700		184	
事業の目的・意図								
<p>【事業目的】 関金総合運動公園子供広場の複合遊具を良好な状態に維持管理することで、利用者が安全に利用できるようにするもの。</p> <p>【経過・背景】 子供広場遊具は平成9年3月に設置し、設置から28年経過している。 遊具点検調査より「階段と踊り場の木材に経年劣化による腐食が見られるので、交換が必要」との報告があり、令和2年度から木部腐食箇所を年次的に交換しているところ。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】 子供広場の複合遊具高所部分のデッキが経年劣化により腐朽しているため、縞鋼板に取替し機能強化を図るもの。</p> <p>【内訳】 需用費 子供広場遊具修繕 884千円</p>								
主な特定財源（名称、金額 等）								
<p>【地方債】 こども・子育て支援事業債 700千円</p>								

担当課	関金支所	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進					
事業名	関金エリア施設維持管理（関金公園等管理）						予算説明書ページ	15
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費				
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,868	495						495	
事業の目的・意図								
<p>【事業目的】 関金地区の公園等施設利用者の安全性かつ利便性を図るため、良好な状態に維持管理するもの。</p> <p>【経過・背景】 関金3号公園は平成10年供用開始。公園設置当初からの樹木が大きく生長しており、今後の維持管理及び利用者の安全面を考慮し、伐採・強剪定を行う。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】 対象の樹木は歩道（通学路）沿い及び電柱付近に位置しており、品種柄生長も早く、今後さらに大きくなることから維持管理・安全面を考慮して早めの伐採・強剪定を行うもの。</p> <p>【内訳】 役務費 関金3号公園樹木伐採・強剪定業務 495千円</p>								
主な特定財源（名称、金額 等）								

担当課	市民課	施策	27_効果的・効率的な行政運営の推進				
事業名	戸籍住民登録事務（市民）					予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 3 戸籍住民基本台帳費	目 1 戸籍住民基本台帳費			
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
59,269	925	財源内訳					925
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 増加する証明書の種類に対応し、窓口サービスの利便性を高めるとともに、混雑を緩和し事務処理を効率化するため、現行レジの更新を実施する。</p> <p>【経過・背景】 近年の法改正により証明書の種類が拡大しており、平成25年度導入の現行レジでは対応が困難になっている。キャッシュレス決済は導入済みであるものの、レジとの二重管理やレシート発行の手作業が残存しており、窓口の混雑および集計作業の負荷を増大させている。現行の1台体制も原因の一つであり、これを刷新することで窓口運用の安定化と業務効率の改善を目指す。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 新規でレジ決済端末を2台導入し、現行のキャッシュレス決済端末1台をレジ決済端末として再利用し、計3台のレジシステムを整備する。内訳は窓口用2台、郵送用1台。</p> <p>【内訳】 ・ 使用料及び賃借料 149千円 レジシステムサービス利用料（年間、3台分） ・ 備品購入費 776千円 レジ決済端末（2台分）、レジ機器一式（3台分）</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							

担当課	税務課	施策	28_健全な財政運営の継続				
事業名	賦課徴収					予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 2 徴税费	目 2 賦課徴収費			
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
83,449	3,745	財源内訳					3,745
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 税負担の公平性及び市財源の確保を図るため、法令等に基づき市税の賦課徴収を適正に行うもの。</p> <p>【経過・背景】 税制改正、データ連携の拡充、変更、課税資料処理方法の変更へ対応するもの。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 ・ 税制改正に伴う基幹システムの追加改修 ・ 申告支援システムのサーバー関連機器の更新 ・ 給与支払報告書のデータ化及び取込に係るAIを活用したシステム導入</p> <p>【内訳】 委託料 2,964千円 ・ 個人住民税システム 令和7年度税制改正対応作業委託料 232千円 ・ 申告支援システム eLTAX5期更改対応作業委託料 2,732千円 使用料及び賃借料 781千円 ・ 給与支払報告書 Ai-OCRサービス利用料 781千円</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							

担当課	地域づくり支援課	施策	26_市民と協働したまちづくりの推進				
事業期間	令和8年度		区分	新規			
事業名	コミュニティセンター管理				予算説明書ページ	15～16	
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	35,641	財源内訳		10,000	67,900	5,000	650
目的・意図							
地域住民の活動拠点施設であるコミュニティセンターの整備を行い、コミュニティ活動及び生涯学習の推進並びに地域福祉等の増進を図るもの。							
経過・背景							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 灘手コミュニティセンターは耐震性に問題があるため、倉吉市教育施設長寿命化計画において改修/長寿命化改修検討の時期となっている。 ・ 地域住民で組織する灘手小学校跡地利活用検討会において、災害時の避難所にも指定されている旧灘手小学校の校舎の一部を活用することとされたもの。 							
事業効果							
地震災害時においても安全な建物へコミュニティセンター機能を移転することで、地域住民の活動拠点として安心して施設利用が可能となり、より一層生涯学習の推進並びに地域福祉等の増進を図ることが可能となる。							
事業内容							
<p>灘手コミュニティセンターの移転に伴う旧灘手小学校の改修工事を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健室を改修し調理室を設置 ・ 職員室と校長室の間仕切壁の撤去、改修し大会議室を設置 ・ 給食配膳室を改修、拡張し事務室を設置 ・ 男子トイレ、女子トイレのバリアフリー化 							
内訳							
<p>役務費 308千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灘手コミュニティセンターTV配線設定手数料 110千円 ・ 灘手コミュニティセンター電話回線設定手数料 33千円 ・ 灘手コミュニティセンターWi-Fi機器設定手数料 165千円 <p>委託料 4,418千円(灘手コミュニティセンター移転工事 監理業務委託料)</p> <p>工事請負費 73,524千円(灘手コミュニティセンター移転工事)</p> <p>備品購入費 5,300千円(灘手コミュニティセンター備品)</p>							
特定財源							
<p>【県】 安心して住み続けられるふるさとづくり応援補助金 10,000千円</p> <p>【地方債】 緊急防災・減災事業債 67,900千円</p> <p>【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 5,000千円</p>							
全体事業費							
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降		
	事業費	83,550	83,550				
	国庫支出金						
	県支出金	10,000	10,000				
	地方債	67,900	67,900				
	その他	5,000	5,000				
	一般財源	650	650				

担当課	地域づくり支援課		施策	26_市民と協働したまちづくりの推進			
事業期間	令和8年度			区分	新規		
事業名	【交付金事業】自治公民館照明設備LED化促進事業					予算説明書ページ	16
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	0	財源内訳	8,334				0
目的・意図							
自治公民館活動を推進するため、自治公民館に対して公民館施設整備の補助等を行うもの。							
経過・背景							
<p>市内の多くの自治公民館施設では照明器具のLED化が遅れており、物価高騰による光熱費負担を軽減するため省エネ性能の高い器具へ更新する必要がある。</p> <p>また、蛍光灯の製造及び輸出入の禁止時期が迫っており、倉吉市自治公民館連合会からも支援の要望がある。</p>							
事業効果							
省エネ性能の高いLED照明器具への更新により、物価高騰による光熱費の負担軽減を図る。							
事業内容							
自治公民館の照明設備LED化改修に要する経費の3分の1を補助する。 (補助対象経費下限額100千円、上限額500千円)							
内訳							
<p>負担金補助及び交付金 8,334千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治公民館照明設備LED化促進補助金 8,334千円 改修費50万円×補助率1/3×自治公民館50館 							
特定財源							
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 8,334千円							
全体事業費							
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R10年度以降		
	事業費	8,334	8,334				
	国庫支出金	8,334	8,334				
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						

担当課	人権政策課	施策	11_人権尊重の確立				
事業名	あたごふれあい人権文化センター運営					予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 7 人権文化センター費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
13,923	6,794			6,100	600	94	
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざす拠点施設として、全市民を対象とした人権啓発・広報活動及び生活上の各種相談事業を推進するとともに、地域住民の自主活動の育成と交流促進を図る。</p> <p>【経過・背景】 公共施設における2027年末の蛍光灯生産終了に向けた対策と節電対策によるCO2排出削減が求められている。施設の長寿命化も踏まえ、照明設備のLED化を進める必要がある。 (施設概要) 上小鴨老人憩の家との複合施設、指定避難所</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 あたごふれあい人権文化センターの照明設備のLED化を行うもの。</p> <p>【内訳】 需用費 ・修繕料 あたごふれあい人権文化センター照明LED化業務 6,794千円</p> <p>あたごふれあい人権文化センター照明設備LED化業務 (全体経費) 11,322千円 上小鴨老人憩の家と建物延床面積の割合で全体経費を按分 11,322千円×60%≒6,794千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
<p>【地方債】脱炭素化推進事業債 6,794千円×90% (充当率) ≒6,100千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 600千円</p>							

担当課	人権政策課	施策	12_男女共同参画社会の実現				
事業名	男女共同参画の推進					予算説明書ページ	17~18
補正予算	会計 一般	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 8 人権啓発費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
439	300						300
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 第7次くらしよ男女共同参画プランに基づき、誰もが性別にかかわらずその個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、若年層に対しジェンダーに関する理解促進及び行動啓発を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 啓発事業を中心に男女共同参画施策及び女性活躍推進施策を実施。無意識の偏見に気づき、行動を変えるための取り組みや、ジェンダー平等を次世代につなぐ施策が求められている。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 鳥取看護大学・短期大学の学生を対象に、講演及びワークショップを実施 (令和8年10月頃実施予定)。受講後、学内の学生に対し内容を伝達することで若年層への啓発を行うとともに、人材育成にもつなげていく。</p> <p>【内訳】 ・報償費 講師謝金 200千円 ・旅費 講師旅費 100千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							

担当課	環境課		施策	20_再生可能エネルギーの活用と自然環境の保全			
事業期間	令和7年度～令和11年度			区分	拡充		
事業名	脱炭素先行地域					予算説明書ページ	18
補正予算	会計 一般	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 4 環境衛生費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
	0	467,314	467,314				0
目的・意図							
ゼロカーボンシティの実現を図るため、環境省脱炭素先行地域選定事業を実施するもの。							
経過・背景							
<p>環境基本計画に掲げるゼロカーボンシティの実現に向け、脱炭素を地域課題解決に結びつけていく事業の検討を進めており、令和7年5月に琴浦町、北栄町等との共同提案事業が環境省脱炭素先行地域に選定されたことから、選定事業の実施に向けた体制を整備し事業を推進する。</p> <p>脱炭素先行地域事業の実施にあたり、事業計画に基づき環境省より地域脱炭素移行・再エネ推進交付金が事業年度中毎年度交付される。</p>							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・集落規模に応じた営農型太陽光発電の展開により、耕作放棄地の解消と売電・地場産品販売に伴う収益増加を実現し、地域経済の活性化を図る。 ・営農型太陽光発電等の発電設備を新たに設置し、発電から消費まで地域内で行うことによるエネルギー資金の地域内経済循環により、中山間地集落の抱える地域課題に利益を還元する仕組みを構築する。 							
事業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・環境省より交付される地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を、脱炭素先行地域事業の実施主体として発電設備等を設置する一般社団法人等に間接補助する。 ・脱炭素先行地域事業の実施に必要となる事業説明、技術支援を関連事業者へ業務委託する。 							
内訳							
<p>委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域事業推進業務委託料 14,340千円 (地域新電力契約切替推進に関する業務、各種再エネ発電設備整備に関する業務等) <p>負担金補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域事業推進補助金 452,974千円 <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地営農型太陽光発電設備導入事業(7箇所):158,217千円 PPA方式による公共施設へのPV導入事業(1箇所):22,575千円 休止中旧小水力発電再稼働事業:74,277千円 市有遊休地を活用した太陽光発電設備導入事業(2箇所):115,570千円 既設nonFIT太陽光用蓄電池導入事業(2箇所):24,150千円 PPA方式による戸建住宅太陽光発電設備導入事業(40戸):44,186千円 エネルギーマネジメントシステム導入事業:13,999千円 							
特定財源							
【国】地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 467,314 千円							
全体事業費(全体計画には令和7年度の事業費を含む)							
		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降		
	事業費	2,510,217	467,314	957,850	1,020,684		
財源内訳	国庫支出金	2,508,917	467,314	957,850	1,020,684		
	県支出金						
	地方債						
	その他	1,000					
	一般財源	300					

担 当 課	環境課	施 策	19_廃棄物の減量と適正処理				
事 業 名	塵芥処理				予算説明書ページ	19	
補正予算	会計 一般	款 4 衛生費	項 2 清掃費	目 2 塵芥処理費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
722,332	23,944					23,007	937
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 生活環境の保全を図るため、廃棄物の減量と適正処理を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 近年、ごみ処理経費（人件費や物価高騰、設備維持費）が増加するとともに、指定ごみ袋有料化による排出抑制効果が弱まっていることから、指定ごみ袋料金等の見直しについて「倉吉廃棄物減量等推進審議会」に諮問し、令和8年1月に新たな指定ごみ袋の規格や金額（大袋（40ℓ・55円）中袋（20ℓ・27円）小袋（10ℓ・14円））について答申を得たところ。 このたび、審議会答申に基づき、議案「倉吉市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部改正について」とともに、議会へ関連する予算を提案するもの（料金改定の施行は令和8年11月を予定）。 緊迫する中東情勢を受け、原油や石油化学製品の原料の供給停滞、価格の高騰等が懸念されている。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 可燃ごみ処理手数料の改定（現行：大袋（40ℓ・31円）小袋（20ℓ・21円）→改定後：大袋（40ℓ・55円）中袋（20ℓ・27円）小袋（10ℓ・14円））に基づき、指定ごみ袋を作成する。 指定ごみ袋の販売に関し、販売価格の8%の手数料を支払う。</p> <p>【内訳】 需用費 指定ごみ袋作成 22,150千円 大袋50枚入（300枚入/箱） $1,800箱 \times 6,000円 \times 1.1 = 11,880,000円$ 大袋10枚入（300枚入/箱） $3,000箱 \times 6,700円 \times 1.1 = 22,110,000円$ 中袋50枚入（300枚入/箱） $230箱 \times 4,700円 \times 1.1 = 1,189,100円$ 中袋10枚入（300枚入/箱） $380箱 \times 4,600円 \times 1.1 = 1,922,800円$ 小袋50枚入（500枚入/箱） $420箱 \times 4,400円 \times 1.1 = 2,032,800円$ 小袋10枚入（500枚入/箱） $780箱 \times 4,200円 \times 1.1 = 3,603,600円$ <u>合計 42,738,300円</u> 決算見込額 42,739千円 - 現計予算額 20,589千円 = 22,150千円 役務費 ごみ袋販売手数料 1,794千円 （4月～10月） 大袋 $1,065,600枚 \times 31円 \times 8\% = 2,642,688円$ 小袋（現行）$404,100枚 \times 21円 \times 8\% = 678,888円$ （11月～3月） 大袋 $561,300枚 \times 55円 \times 8\% = 2,469,720円$ 中袋 $73,200枚 \times 27円 \times 8\% = 158,112円$ 小袋 $240,000枚 \times 14円 \times 8\% = 268,800円$ <u>合計 6,218,208円</u> 決算見込額 6,219千円 - 現計予算額 4,425千円 = 1,794千円 </p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							
<p>【その他】ごみ処理手数料 23,007千円 （大袋55円、中袋27円、小袋14円）</p>							

担当課	農林課	施策	01_農畜水産業の振興					
事業名	特産品生産振興対策事業						予算説明書ページ	19
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
0	864	財源内訳					864	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 梨・ぶどう・かきを対象とする果樹共済、収入保険への加入を促進することにより、経営の安定と特産品の生産振興を支援するもの。</p> <p>【経過・背景】 果樹共済・収入保険への加入促進のため、支援が求められている。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 果樹共済掛金農家負担額、収入保険掛金のうち果樹共済該当分の20%を助成 加入見込農家 果樹共済 24戸 収入保険 70戸</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 果樹共済補助金 50千円 収入保険補助金(果樹共済相当部分) 814千円</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								

担当課	農林課	施策	01_農畜水産業の振興					
事業名	小規模零細地域営農確立促進対策						予算説明書ページ	19
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
5,081	940	財源内訳				470	470	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 同和対策事業で整備した倉吉水耕栽培施設等の農業用施設の適正な運営を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 市有施設である倉吉水耕栽培施設を㈱A&Eが使用しており、修繕料以外は全て㈱A&Eが負担。施設運営上必要な経費を最少に抑えつつ事業実施を継続している。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 倉吉水耕栽培施設に係る修繕 同和対策事業で整備した農業用施設の適正な維持</p> <p>【内訳】 需用費 940千円 ・養液流量メーター修繕 390,000円 ・天窓減速機修繕 550,000円</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
【その他】施設等充実協力金(1/2) 470千円								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	集落営農体制強化支援事業						予算説明書ページ	19
補正予算	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
13,000	2,400	財源内訳		1,600			800	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 農家の高齢化や担い手不足が問題となっているなか、担い手の一つとして集落営農組織の機械導入や設備の整備を支援することにより、経営の多角化や組織の経営規模の強化を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 令和4年度より集積率、経営の多角化、機械の導入状況等のポイント制による事業採択に変更となった。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 集落営農組織が機械導入や施設の整備を行う場合に事業費の1/2を補助するもの。</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 集落営農体制強化支援事業費補助金(県1/3 市1/6) 2,400千円 事業主体:集落営農組織(北谷地区) 事業内容:乾燥調製施設 事業費:4,800千円 補助金額:事業費×1/2=2,400千円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】集落営農体制強化支援事業費補助金 4,800千円×1/3=1,600千円								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	雪害園芸施設等復旧対策事業						予算説明書ページ	19
補正予算	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
0	4,332	財源内訳		2,166			2,166	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 自然災害により全半壊の被害を受けた農林業施設等の復旧経費を補助することで、産地の維持発展、産物の生産振興を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 令和8年2月7日からの降雪で半壊の被害を受けた農業施設を早期復旧し、生産基盤を回復することが求められている。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 令和8年2月の降雪により半壊の被害を受けた農業施設の復旧及び撤去に要する費用の2/3を補助するもの。</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 4,332千円 雪害園芸施設等復旧対策事業費補助金 ビニールハウス(関金町大鳥居) 1棟 418㎡ 補助限度額 復旧費 16,588円/㎡ 撤去費 1,300円/㎡ 復旧経費 復旧費 16,588円/㎡×418㎡=6,933,784円 ……① 撤去費 1,300円/㎡×418㎡= 543,400円 ……② ハウス共済金 979,965円 ……③ ①+②-③=6,497,219円 補助率 2/3(県1/3、市1/3) 補助金:6,497,219円×2/3 = 4,331,479円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】雪害園芸施設等復旧対策事業費補助金(1/3) 2,166千円								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	農業産品高付加価値化推進事業						予算説明書ページ	19
補正予算	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
0	303	財源内訳					303	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 倉吉西瓜、梨、メロン等の農産物について関東圏・関西圏でのPRを実施しつつ、現地での市場調査を同時に実施することで、倉吉市の認知度、倉吉産農産物の魅力等を定性、定量両面から把握し、新たな商材開発やプロモーションの根拠データとして活用をしていくもの。</p> <p>【経過・背景】 倉吉極実西瓜はブランド化の取組が奏功し単価が上昇しているところであるが、認知度の不足やさらなる単価上昇が課題となっているとともに、梨、プリンスメロンなどの他の農産物も同様の課題を抱えている。これまで以上に認知度を高め、単価上昇していくためには、現状の調査分析を行い、有効な対策を打っていく必要がある。また、農業従事者の平均年齢は年々上昇し、後継者の育成が急務となるなか、就農意欲のある都市部住民が移住して就農できる体制を整えるためのデータ整理の必要がある。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 J A鳥取中央と連携し、関東、関西の2カ所で実施する倉吉産農産物のPRイベント(委託事業)に参加するための旅費</p> <p>【内訳】 普通旅費 303千円 関東 2泊3日×2名 関西 1泊2日×2名</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	内水面漁業活動支援事業						予算説明書ページ	20
補正予算	会計一般	款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
0	1,000	財源内訳					1,000	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 自然及び人為的な影響により魚類の生育環境は悪化傾向にある中、環境保全活動等に要する経費を支援し、水産資源の維持増殖と内水面水産業の振興を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 水産資源の維持増殖と内水面水産業の振興を図るための補助が求められている。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 天神川漁業協同組合が行う魚の豊かな川づくり等の環境保全活動に要する経費を支援するもの。</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 1,000千円 内水面漁業活動支援事業費補助金(市1/2) 事業主体:天神川漁業協同組合 対象経費:2,000千円(上限額) ヤマメ稚魚、イワナ稚魚、アユ稚魚、ヤマメ成魚の放流</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	しごと定住促進課	施策	03_安定した雇用の維持と確保				
事業期間	令和8年度～令和10年度		区分	新規			
事業名	商工業振興					予算説明書ページ	20
補正予算	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	31,312	財源内訳	9,102			9,000	103
目的・意図							
市内企業の魅力発信、DX化を推進することで、若者の県外流出抑止・IJUターン促進及び市内企業の生産性向上を目指す。							
経過・背景							
<p>令和4年度以降、市内企業の魅力を地元高校生やIJUターン希望者に発信するため、企業ガイドブックの作成、市内の高校生を対象にした企業説明会などを行ってきたが、企業のリアルな様子が伝えきれておらず、工場見学を計画しても受入企業が固定化して限られてしまうといった課題がある。</p> <p>また、慢性的な人材不足が続く中で、市内企業ではDX化等による生産性向上の必要性は認識されているものの、事例が少なくDX化の効果が不透明であること、初期投資の負担が大きいことなどが障壁となりDX化が進んでいない。</p>							
事業効果							
市内企業の魅力がよりリアルに伝わり若者の県外流出抑止やIJUターンが促進される。DX化を推進することで、市内企業の生産性向上が図られる。							
事業内容							
<p>①デジタルしごと体験コンテンツ作成業務 11,605千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生やIJUターン希望者に向けて、企業の魅力をよりリアルに感じてもらうことで、地元就職の促進を図る。 10社程度の工場・施設を360度カメラで撮影し、市内企業の魅力をよりリアルに発信するためのコンテンツを作成。 高校の進路指導室、移住相談会等に設置し、自由に視聴できる環境を整えることで、気軽に地元企業の情報を得る環境を整える。 対象企業は公募を予定。 <p>②中小企業DX推進業務 6,600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期投資を抑えながらシステムエンジニア(SE)を活用してもらうことで、市内企業のDX化を促進する。 本来1人当たり6,000千円～8,000千円/年かかる高スキルのSEの経費を4社で分割(シェア)することで安価に高スキルのSEを活用する仕組みを実証的に実施。 対象企業は公募を予定。 <p><エンジニアの役割></p> <p>1人のSEを4社程度の企業で共有。SEは企業ごとの課題解決につながる独自の、システムを開発し提供・保守・管理、従業員トレーニング、事業所内DX推進相談窓口の役割を担う。</p>							
内訳							
<p>①デジタルしごと体験コンテンツ作成業務 11,605千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 11,605千円(10社程度を想定) コンテンツデザイン・実装 5,500千円 取材・編集・撮影(10社) 4,180千円 ツールライセンス料/年 110千円 取材に係る交通・宿泊費 1,540千円 視聴機材 275千円 <p>②中小企業DX推進業務 6,600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 6,600千円 エンジニアシェアリングサービス(実証事業) 6,000千円×1人×1.1(4社分) 事業期間: 9ヶ月 							
特定財源							
<p>【国】地域未来交付金(地域未来推進型) 18,205千円×1/2≒9,102千円</p> <p>【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 9,000千円</p>							

全体事業費					
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降
	事業費	112,605	18,205	52,200	42,200
財 源 内 訳	国庫支出金	56,302	9,102	26,100	21,100
	県支出金				
	地方債				
	その他	9,000	9,000		
	一般財源	47,303	103	26,100	21,100

担当課	しごと定住促進課		施策	03_安定した雇用の維持と確保			
事業名	企業誘致					予算説明書ページ	20
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 2 商工業振興費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
	3,641	141,000		11,750	70,500	47,000	11,750
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 企業立地を促進することで、雇用の創出と若者定住を推進し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>【経過・背景】 人口減少が進む中、雇用の創出による若者定住が求められている。本事業では、企業の要望に応える形で行うオーダーメイド型の造成を進めており、規模拡大に伴う要望に応えるための事業を実施している。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 巖城工業団地としての物流能力を強化させるため必要となる進入路を整備するとともに、雇用創出を図る。</p> <p>【内訳】 委託料 調査委託料 12,000千円（巖城工業団地に整備に伴う工損調査（事前）） 工事請負費 整備工事 117,000千円（巖城工業団地進入路整備） 補償補填及び賠償金 ・補償金 12,000千円（巖城工業団地物件移転補償）</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							
<p>【県】 工業団地再整備事業費補助金 11,750千円（(141,000千円－47,000千円－70,500千円)×1/2） 【地方債】 工業団地整備事業債 70,500千円（(141,000千円－47,000千円)×75%） 【その他】 団地整備負担金 47,000千円（141,000千円×1/3）</p>							

担当課	観光交流課		施策	05_地域資源を活かした観光の振興																																																			
事業期間	令和8年度			区分	新規																																																		
事業名	韓国姉妹都市等交流					予算説明書ページ	15～16																																																
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費																																																
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源																																																
13	2,890					45	2,845																																																
目的・意図																																																							
<p>羅州市との交流宣言に基づく両市の交流促進のため、羅州市副市長等の来倉による行政交流及び中学生交流、民間交流の支援を行うもの。</p> <p>また、県及び県内自治体との交流が進む台湾と、観光・文化等の分野における新たな関係を構築するため、事前に台湾台中市を訪問し調整するもの。</p>																																																							
経過・背景																																																							
<p>韓国羅州市と令和5年に締結した協定書に基づく、行政、民間及び中学生交流等を計画する。</p> <p>また、台湾については令和7年5月からスタートした米子・台北直行便就航に伴う、インバウンドによる交流人口の拡大、地域経済の活性化及び文化・スポーツによる交流人口の増加等につなげるもの。</p>																																																							
事業効果																																																							
<ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観に触れることにより、各分野における異文化への理解が深まり、豊かな人間形成に繋がる。 インバウンドによる地域の産業・経済の活性化が期待される。 																																																							
事業内容																																																							
<ul style="list-style-type: none"> 羅州市副市長、副議長等の行政訪問団を受入する。 羅州市との中学生交流（受入）を行う。 鳥取県中部地区日韓親善協会の民間交流を支援する。 行政訪問団参加予定者 11人（内訳：副市長、市議会副議長 他9人） ※実施時期：令和9年3月 中学生交流 36名（羅州市中学生17人、倉吉市17人 引率・通訳含む） 鳥取県中部地区日韓親善協会交流 2団体受入 台湾台中市との交流に向けた事前訪問団（3人） 																																																							
内訳																																																							
<table> <tr> <td>報償費</td> <td>300千円</td> <td colspan="6">(羅州市来訪通訳等)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,131千円</td> <td colspan="6">(羅州市中学生・台湾訪問)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>583千円</td> <td colspan="6">(羅州市副市長・中学生来訪関連事務用品等)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>93千円</td> <td colspan="6">(交流等手数料・保険料)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>423千円</td> <td colspan="6">(羅州対応 会場使用料・入場料)</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>360千円</td> <td colspan="6">交流推進団体活動支援事業費補助金</td> </tr> </table>								報償費	300千円	(羅州市来訪通訳等)						旅費	1,131千円	(羅州市中学生・台湾訪問)						需用費	583千円	(羅州市副市長・中学生来訪関連事務用品等)						役務費	93千円	(交流等手数料・保険料)						使用料及び賃借料	423千円	(羅州対応 会場使用料・入場料)						負担金補助及び交付金	360千円	交流推進団体活動支援事業費補助金					
報償費	300千円	(羅州市来訪通訳等)																																																					
旅費	1,131千円	(羅州市中学生・台湾訪問)																																																					
需用費	583千円	(羅州市副市長・中学生来訪関連事務用品等)																																																					
役務費	93千円	(交流等手数料・保険料)																																																					
使用料及び賃借料	423千円	(羅州対応 会場使用料・入場料)																																																					
負担金補助及び交付金	360千円	交流推進団体活動支援事業費補助金																																																					
特定財源																																																							
【その他】青少年日韓交流事業参加者負担金 45千円																																																							
全体事業費																																																							
財 源 内 訳		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降																																																		
	事業費	2,890	2,890																																																				
	国庫支出金																																																						
	県支出金																																																						
	地方債																																																						
	その他	45	45																																																				
一般財源	2,845	2,845																																																					

担当課	観光交流課	施策	16_文化・芸術活動の振興			
事業期間	令和8年度～	区分	新規			
事業名	文化芸術活動振興				予算説明書ページ	16
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費		
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他 一般財源
	855	300				300
目的・意図						
天女音楽祭の後継事業である市民音楽祭への支援を通じて、文化芸術の鑑賞機会及び発表機会の提供を行うことで、市民の自主的な文化芸術活動の活性化を図り、心豊かで文化の薫りに満ちたまちづくりにつなげるもの。						
経過・背景						
文化芸術活動団体への支援と協働を通じて、地域の伝統文化の継承、芸術文化の鑑賞機会及び発表機会の提供を行ってきた。						
事業効果						
・文化芸術活動に係る次世代の育成が図られる。						
事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 倉吉天女音楽祭の後継事業となる市民音楽祭の開催に対する補助金を交付するもの。 名称：倉吉ミュージックフェスティバル2026 日時：令和8年9月12日（土）～13日（日） 場所：エースパック未来中心 アトリウム 						
内訳						
負担金補助及び交付金 300千円 ・市民音楽祭補助金 300千円						
特定財源						
全体事業費（令和8年度のみを計上）						
		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降	
	事業費	300	300			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	300	300			

担当課	観光交流課	施策	16_文化・芸術活動の振興				
事業名	文化活動センター					予算説明書ページ	15
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,415	902						902
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 倉吉市文化活動センターを効率的かつ適切に管理運営ができるよう指定管理制度により運営し、市民の文化芸術及び市民活動の拠点施設として有効かつ円滑な利用に資するもの。</p> <p>【経過・背景】 指定管理者ヒナドリラボ (HiNADORI lab.) への指定管理を令和6年度から令和10年度までの5年間実施する。 毎年実施している消防設備点検において、非常用放送設備の不具合が確認されたもの。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 ・消防設備点検において指摘のあった、非常用放送設備を修繕するもの。</p> <p>【内訳】 ・修繕費 902千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							

担当課	観光交流課		施策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事業期間	令和8年度～令和9年度			区分	新規		
事業名	スポーツ活動振興					予算説明書ページ	15～16
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費			
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	29,997	財源内訳				4,700	180
目的・意図							
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション、スポーツツーリズムの推進による地域活性化のため、地域スポーツコミッションの組織化に向けた検討を行うもの。 ・令和9年5月に開催するWMG（ワールドマスターズゲームズ）2027関西自転車競技という国際的なスポーツコンベンションの開催により、倉吉市の魅力発信及び地域活性化を図るため、倉吉市・北栄町実行委員会の事務局経費及び会場設営等の競技に必要な経費を計上するもの。 							
経過・背景							
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁が支援を行い、全国的に組織化が進んでいる地域スポーツコミッションについて、本市における組織化の検討を行うもの。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により2021年から延期となっていたWMGが2027年5月に開催されるため、大会開催に必要な経費を計上するもの。 							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション、スポーツツーリズムの推進が図られる。 ・国内外から参加する選手等を通じて関係者・交流人口の増が図られる。 							
事業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコミッションの先進事例の発表会へ参加する経費を計上するもの。 ・WMG2027関西自転車競技開催に向け、WMG2027関西自転車競技倉吉市・北栄町実行委員会事務局の運営並びに大会開催に係る経費を負担するもの。 							
							
内訳							
旅費 100千円（スポーツコミッション研修旅費） 負担金補助及び交付金 4,780千円 ・WMG2027関西自転車競技倉吉市・北栄町実行委員会 4,780千円							
特定財源							
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 4,700千円							
全体事業費							
財源内訳		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降		
	事業費	40,363	4,880	35,483			
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	4,700	4,700				
一般財源	35,663	180	35,483				

担当課	観光交流課		施策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事業期間	終期末定		区分	新規・拡充			
事業名	地域資源観光活用事業					予算説明書ページ	20～21
補正予算	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	6,695	財源内訳	57,500			72,900	3,132
目的・意図							
映画「遥かな町へ」の2026年公開を契機に、作品の舞台である倉吉の昭和レトロな街並みや生活文化を活かした滞在型観光の推進を図るため、欧米長期滞在層を主なターゲットとした観光戦略の検討及び海外PR等の誘客事業を実施するもの。							
経過・背景							
映画「遥かな町へ」の公開を契機にロケ地整備や地域の機運醸成を図るとともに、海外向けPRを実施し、ロケーションツーリズムによる観光誘客の促進を図る必要がある。							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・映画公開に向けた地域の機運醸成 ・ロケーションツーリズムによる観光誘客 							
事業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ○欧州長期滞在者をターゲットとした観光戦略策定実践事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ノスタルジックブランド構築事業 <ol style="list-style-type: none"> ①欧州長期滞在志向層の嗜好調査、生活文化体験の需要分析、市内資源の整理・分析 ②「ノスタルジックリゾート倉吉」の世界観を明確化し、事業企画や世界観・方向性をまとめたコンセプトブックを作成することで、地域内での共有理解を図る。 ③欧州長期滞在志向者が重要視する「生活文化に触れる滞在」を観光商品として成立させるため、住民参加型の交流型体験を試し、満足度、受入負荷等を検証する。 ・映画を起点とした地域内への経済効果維持拡大事業 <ol style="list-style-type: none"> ①ロケ地・関連地点を整理し、映画の世界と接続できる立ち寄りポイント等体験ルート案の作成 ②フィルムコミッション立ち上げ準備・受け皿づくり ・観光基盤整備・海外PR強化事業 <ol style="list-style-type: none"> ①NFC（近距離無線通信：数センチの距離で「かざすだけ」で通信できる無線技術）システム整備 ○映画公開を契機とした、フランスを主とする海外との継続的な関係構築を目指すもの ○映画「遥かな町へ」を応援する会への負担金を支出するもの 							
内訳							
<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 2,088千円（海外PR（フランス）旅費・先進地視察（豊後高田市）） ・役務費 500千円（広告料（新日本海新聞社発行50周年記念企画掲載）） ・委託料 115,000千円（欧米長期滞在者をターゲットとした観光戦略策定実践事業委託料） ・負担金補助及び交付金 15,944千円 <ul style="list-style-type: none"> 負担金 13,000千円（映画「遥かな町へ」を応援する会負担金） 補助金 2,944千円（映画ロケ地「中原家」運営事業費補助金） 							
特定財源							
<ul style="list-style-type: none"> 【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 115,000千円×1/2=57,500千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 72,900千円 							
全体事業費（全体事業費に令和7年度映画関連事業費を含む）							
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R10年度以降		
	事業費	427,859	133,532	105,000	140,000		
	国庫支出金	180,000	57,500	52,500	70,000		
	県支出金						
	地方債						
	その他	118,965	72,900				
一般財源	128,894	3,132	52,500	70,000			

担当課	観光交流課		施策	02_企業が持つ特性・特色を活かした商工業の振興			
事業名	飲食・物販施設管理					予算説明書ページ	20
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
15,070	4,510				4,000		510
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 食彩館の照明設備に使用している蛍光灯については、2027年中に生産が終了し、今後の交換用ランプの安定的な調達が困難になることから、施設維持管理の安定化及び省エネルギー化のため、照明設備をLED照明へ交換するもの。</p> <p>【経過・背景】 蛍光灯の製造中止に伴い、施設の継続的な運営に支障をきたす恐れがある。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 施設の維持管理の安定化及び省エネルギー化による維持管理費の削減を図るため、館内のすべての照明82台をLED照明に更新する。</p> <p>【内訳】 ・需用費 4,510千円 修繕料 LED化改修 (内訳) @55,000円×82台（諸経費等含む）=4,510,000円 改修箇所 共有スペース8台、催事室10台、店舗（11店舗分）64台</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							
<p>【地方債】 脱炭素化推進事業債 4,000千円</p>							

担当課	観光交流課	施策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事業期間	令和8年度～令和10年度		区分	新規		
事業名	観光施設維持管理事業（関金地区）				予算説明書ページ	20
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費		
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他 一般財源
	29,426	16,262	7,590		3,200	5,000 472
目的・意図						
<ul style="list-style-type: none"> ・関金温泉エリアの観光拠点機能の強化を図るため、せきがね湯命館及び関金都市交流センターの改修に向けた設計を行うもの。 ・あわせて、道の駅犬狹について、老朽化した設備を更新し、安全性及び利便性の確保を図るもの。 						
経過・背景						
<ul style="list-style-type: none"> ・せきがね湯命館は建設から31年が経過し、内外装の老朽化が進行しているほか、ボイラー、浴槽、空調設備の老朽化により、運用コストの増加が課題となっている。 ・関金都市交流センターについても、施設全体の経年劣化が進んでおり、観光拠点としての機能強化に向けた再整備が求められている。 ・道の駅犬狹については、建設から28年が経過し、玄関自動ドア及び給湯器に老朽化が見られる状況にある。 						
事業効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・せきがね湯命館及び関金都市交流センターの改修に向けた設計を行うことにより、関金温泉エリアにおける観光拠点機能の強化を図る。 ・道の駅犬狹の設備更新により、安全性及び利便性の向上を図る。 						
事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・せきがね湯命館及び関金都市交流センター改修に係る基本設計及び実施設計 施設改修の設計詳細を固めるための作業に着手するもの。 湯命館と隣接する関金都市交流センターを一体的に改修し、レストラン機能を都市交流センターへ移設し、外部から直接利用できる“食の拠点”を形成する。 湯命館側は旧レストラン部分等を活用して休憩スペースを拡充し、滞在中の観光消費スポットを強化する。 整備にあたり浴場・サウナ等の更新により施設の魅力を高め、利用者の滞在時間・回遊・消費を拡大する。 ・道の駅犬狹の玄関自動ドア修繕及び給湯器の更新 						
内訳						
<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 1,082千円 修繕料（道の駅犬狹玄関自動ドア装置等更新） ・委託料 15,180千円（せきがね湯命館改修設計事業） 						
特定財源						
<ul style="list-style-type: none"> 【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 15,180千円×1/2=7,590千円 【地方債】公共施設等適正管理事業債 700千円 過疎対策事業債（ハード事業分） 2,500千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 5,000千円 						
全体事業費						
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降	
	事業費	1,042,354	16,262	424,161	601,931	
	国庫支出金	520,660	7,590	212,080	300,990	
	県支出金					
	地方債	496,100	3,200	202,000	290,900	
	その他	5,000	5,000			
	一般財源	20,594	472	10,081	10,041	

担当課	観光交流課	施策	05_地域資源を活かした観光の振興				
事業名	地域資源観光活用事業（関金地区）					予算説明書ページ	20～21
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
26,064	3,952				1,400	2,000	552
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 観光DXを推進するため、人流データ分析ツール「おでかけウォッチャー」の分析スポット数を拡充するもの。 また、鳥取うみなみロードのナショナルサイクルルート指定を見据え、県施策と連動したサイクルツーリズムの推進を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 今後の施策立案への活用のため観光スポット毎の周遊データを分析し、観光客の行動把握が必要である。 また、県のサイクルツーリズムの推進に合わせ、サイクルイベントを実施し、同時に関金方面のルート进行PRすることにより旧市街地への入り込み、関金、蒜山などの岡山県北部との連結による集客を図る必要がある。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人流データ分析ツール「おでかけウォッチャー」の分析スポットを10から100へ拡大する 関金温泉を発着点とするサイクルコース定着イベントの開催（開催：令和9年3月予定 参加者：100名程度） 倉吉駅を中心としたサイクルイベントの開催（開催：令和8年秋頃を予定 参加者：100名程度） <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 2,522千円 サイクルイベント運営委託料 関金温泉を発着点とするサイクルコース定着イベント 996千円 倉吉駅を中心としたサイクルイベント 1,526千円 使用料及び賃借料 1,430千円 情報サービス使用料（おでかけウォッチャー追加90スポット） 							
主な特定財源（名称、金額 等）							
<p>【地方債】 過疎対策事債（ソフト事業分） 1,400千円 【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 2,000千円</p>							

担当課	観光交流課		施策	05_地域資源を活かした観光の振興				
事業名	せきがね温泉宿泊施設運営事業						予算説明書ページ	20~21
補正予算	会計	一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
補正前	補正額(千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
36,706	36,860		財源内訳			36,800		60
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧館1階部分の改修を行い、合宿用倉庫の整備による合宿受入機能の強化及びバックヤードの動線確保による施設運営の効率化を図るもの。 ・あわせて、老朽化した屋外受水槽を更新し、施設の安定的な稼働を確保するもの。 ・また、ペット同伴宿泊への対応強化のため、可搬式脱臭機を整備するもの。 <p>【経過・背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の整備工事において、旧館1階部分（バックヤード、合宿用倉庫）で地下水の漏出が発生し、一部改修を見送った箇所があった。その後の経過観察により改修対応の見通しが立ったことから、今回改修を実施するもの。 ・屋外受水槽については、経年劣化により機能低下が見られる状況にあることから、更新を行うもの。 ・ペット同伴宿泊については、受入ニーズの高まりを踏まえ、客室の臭気対策の強化が必要となっている。 								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧館1階部分（バックヤード、合宿用倉庫）内装整備 ・屋外受水槽の更新 ・ペット臭気対策のためのポータブル除菌脱臭機の購入 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,133千円 設計監理委託料（工事設計業務1,167,100円、工事監理業務965,800円） ・工事請負費 34,067千円 整備工事（旧館1階倉庫及びバックヤード内装整備・屋外受水槽取替） ・備品購入費 660千円 備品購入（ポータブル除菌脱臭機） 								
主な特定財源（名称、金額 等）								
【地方債】過疎対策事業債（ハード事業分） 36,800千円								

担当課	文化財課		施策	15_文化財の保存、活用、伝承				
事業名	文化財保護						予算説明書ページ	23
補正予算	会計	一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
補正前	補正額(千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
8,294	249		財源内訳					249
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】</p> <p>貴重な国民的財産である文化財を適切に保存して次世代に継承していくため、その保存及び活用のために必要な措置等を行うもの。</p> <p>【経過・背景】</p> <p>大滝山観音堂木造十一面観音立像（市指定有形文化財・関金町関金宿）の説明板が落雪により破損しているため、修繕が必要な状況である。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】</p> <p>大滝山観音堂木造十一面観音立像（市指定有形文化財・関金町関金宿）の説明板が落雪により破損しているため、修繕する。</p> <p>【内訳】</p> <p>需用費 249千円 指定文化財説明板修繕（1基）</p>								
主な特定財源（名称、金額 等）								

担当課	文化財課		施策	15_文化財の保存、活用、伝承				
事業期間	平成30年度～令和9年度			区分	新規			
事業名	史跡大御堂廃寺跡整備事業						予算説明書ページ	23
補正予算	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
198,287	1,059	財源内訳				1,000	59	
目的・意図								
<p>史跡大御堂廃寺跡のかつての姿などを体感しながら学び後世に継承する事ができるように、県立美術館と一体的な空間として整備を進めるもの。史跡地内に建物基礎等を復元整備し、隣接して歴史や出土品を紹介するガイダンス施設を新築する。ガイダンス施設は、県立美術館からエスパック未来中心・倉吉交流プラザに至る動線上(旧・リス舎付近)に建設。</p>								
経過・背景								
<p>平成13年1月に国史跡に指定されたことに伴い、平成13年・平成14年に史跡指定範囲の買上げを行った。その後、令和元年度に保存活用計画、令和2年度に整備基本計画、令和3年度に整備基本設計、令和4年度に整備実施設計を策定し、令和5年度から実施設計に基づく整備工事を実施し、令和8年度の第1期整備完了に向けて整備を進めている。令和9年度は、整備事業報告書を作成し、第2期整備(寺域の範囲の表現)の内容を検討する。</p>								
事業効果								
<p>史跡大御堂廃寺跡をはじめ、古代寺院への理解を深めるもので、令和9年度から供用開始。史跡価値の向上、歴史愛好家の満足度の向上、美術館来館者の満足度の向上、観光資源としての価値を創出。</p>								
事業内容								
<p>○溜枡(原寸大復元) 木材で溜枡を原寸大で復元し現地で展示する。 ※材料の木材を購入し、作成は鳥取県産業人材育成センター倉吉校に依頼し木造建築科の生徒に作成してもらう予定。溜枡の底は玉石で表現する。</p> <p>○ガイダンス施設備品等整備</p>								
								
		溜枡模式図		溜枡底の玉石				
<p>【溜枡】大御堂廃寺跡西側の水源から木樋(木製の水道管)により導いた水を溜める施設。 このような上水道施設は奈良時代には他に例がなく、大御堂廃寺跡の特徴の一つ。</p>								
内訳								
需用費	300千円	ガイダンス施設 施設維持用消耗品						
委託料	70千円	溜枡玉石洗い出し作成業務						
原材料費	303千円	溜枡作成のための木材						
備品購入費	386千円	ガイダンス施設備品(机・椅子など)						
特定財源								
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 1,000千円								

全体事業費（平成30年度～令和9年度までの事業費を計上、全体計画には平成30年度～令和7年度の実業費を含む）					
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降
	事業費	842,008	199,346	2,000	
財 源 内 訳	国庫支出金	417,329	118,971	1,000	
	県支出金	103,835	22,288	330	
	地方債	235,800	41,500		
	その他	4,600	1,000		
	一般財源	80,444	15,587	670	

担当課	福祉課		施策	09_生活困窮者の自立支援				
事業名	法外扶助						予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費				
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,961	8,746		4,201	4,545			0	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 生活困窮世帯等の負担軽減を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 物価高騰による家計への影響が大きい生活困窮世帯等に対して、光熱費の一部を助成することで負担軽減を図るよう、県補助金を活用し助成を行うため、補正を行うもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 物価高騰による家計への影響が大きい生活困窮世帯等に対し、光熱費に係る費用として1世帯あたり7,000円を助成する。 対象世帯：生活保護、児童扶養手当、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当受給世帯 基準日：令和8年5月1日</p> <p>【内訳】 対象世帯数：1,200世帯 扶助費 8,400千円 (1,200世帯×7,000円) ※県補助基準額 1/2 役務費 346千円 (1,200世帯×288円) ※県補助基準額10/10 助成時期：令和8年5月</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
<p>【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 4,201千円 【県】光熱費助成費補助金 4,545千円</p>								

担当課	こども支援課		施策	06_子育て支援の充実				
事業名	公立放課後児童クラブ運営						予算説明書ページ	18
補正予算	会計 一般	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費				
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
123,379	558				600		△ 42	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学する児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与える事業を実施するもの。</p> <p>【経過・背景】 北谷児童クラブの遊戯室の壁について、老朽化により浮きが発生し、児童が当たって怪我をする恐れがあるため、必要な修繕を行う。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 公立放課後児童クラブの運営継続のため、必要な修繕を行う。 対象クラブ：1クラブ (北谷児童クラブ遊戯室壁修繕)</p> <p>【内訳】 需用費 修繕料 558千円 決算見込額881千円－現計予算額323千円＝補正額558千円</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
<p>【地方債】こども・子育て支援事業債 600千円※ ※当初予算で計上した事業費に係る財源振替を含む。</p>								


担当課	こども支援課		施策	06_子育て支援の充実				
事業名	保育所運営						予算説明書ページ	18
補正予算	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 保育所費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,594,389	8,087	財源内訳			7,200		887	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 家庭において十分に保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育し、通所児童の心身の健全な発達を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 公立保育所の設備のうち、専門業者による定期点検の結果、修繕を要する指摘があったものを中心に、保育環境の維持のために必要な修繕を行う。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 公立保育所の保育環境の維持のため、必要な修繕を行う。 対象園：7園(社保育園屋外テラス修繕、小鴨保育園フェンス改修、関金保育園フェンス改修、社保育園四連ブランコ修繕、灘手保育園二連ブランコ修繕、高城保育園四連ブランコ更新・ジャングルジム更新・滑り台修繕、上小鴨保育園ジャングルジム修繕・二連ブランコ修繕)</p> <p>【内訳】 需用費 修繕料 8,087千円 決算見込額10,115千円－現計予算額2,028千円＝補正額8,087千円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】こども・子育て支援事業債 7,200千円								

担当課	こども支援課		施策	06_子育て支援の充実				
事業名	公立児童館運営						予算説明書ページ	18
補正予算	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
105,768	1,081	財源内訳			3,300		△ 2,219	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、児童の健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 小鴨児童センターの自動ドアについて、故障し動作しない状態。また、上井児童センターの事務室及び中央児童館の遊戯室の照明が老朽化により点灯しない等の不具合が発生しているため、それぞれ必要な修繕を行う。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 公立児童館・児童センターの運営継続のため、必要な修繕を行う。 対象施設：3施設(小鴨児童センター自動ドア修繕、上井児童センター事務室LED化、中央児童館遊戯室LED化)</p> <p>【内訳】 需用費 修繕料 1,081千円 決算見込額4,071千円－現計予算額2,990千円＝補正額1,081千円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】こども・子育て支援事業債 3,300千円※ ※当初予算で計上した事業費に係る財源振替を含む。								

担当課	長寿社会課		施策	08_豊かで健やかな長寿社会の実現			
事業名	伯耆しあわせの郷管理運営委託					予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
74,989	24,200				24,200		0
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 開館以来30年以上経過している既設エレベーターについて、安全性、信頼性、機能性及び省エネ性の維持・向上を図るためのリニューアル改修を行うことで、施設利用者の安全と安心を確保するもの。</p> <p>【経過・背景】 平成5年の開館時に設置したエレベーターは、既に同型機種生産終了から25年以上を経過し、保守部品の供給が令和9年12月末をもって終了するため、それまでに所要の改修を行う必要がある。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 伯耆しあわせの郷エレベーター改修一式</p> <p>〔改修概要〕 既設エレベーターのかご室、乗場扉・三方枠、レール等を流用し、段階的に次の改修を行う。 (1) 機械室内の制御盤更新、電気系統機器の改修 (2) かご操作盤、乗場インジケーターなどの更新 (3) 巻上機取替及び現行法に適合した耐震対策</p> <p>【内訳】 需用費 伯耆しあわせの郷エレベーター改修 24,200千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【地方債】緊急防災・減災事業債 24,200千円 (充当率100%)							

担当課	長寿社会課		施策	08_豊かで健やかな長寿社会の実現			
事業名	老人憩の家管理					予算説明書ページ	17
補正予算	会計 一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,335	4,529				4,000	500	29
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 地域の高齢者に対し心身の健康増進を図るため、教養の向上及びレクリエーション等の場を提供するもの。</p> <p>【経過・背景】 公共施設における2027年末の蛍光灯生産終了に向けた対策と節電対策によるCO2排出削減が求められている。 施設の長寿命化も踏まえ、照明設備のLED化を進める必要がある。 (施設概要) あたごふれあい人権文化センターとの複合施設、指定避難所</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 上小鴨老人憩の家 (あたごふれあい人権文化センターと合築) の照明設備のLED化を行うもの。</p> <p>【内訳】 需用費 ・修繕料 あたごふれあい人権文化センター照明LED化業務 (上小鴨老人憩の家) 4,529千円 あたごふれあい人権文化センター照明設備LED化業務 (全体経費) 11,322千円 あたご人権文化センターと上小鴨老人憩の家と建物延床面積の割合で全体経費を按分 11,322千円×40%≒4,529千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【地方債】脱炭素化推進事業債 4,529千円×90% (充当率) ≒4,000千円							
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 500千円							

担当課	管理計画課	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事業名	打吹公園管理					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 2 公園費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
41,852	11,105				9,900		1,205
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 市内の公衆トイレ施設について、利用者が安心して利用できる施設への環境整備を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 本市の公衆トイレ施設は、建築年数経過に伴う施設の改修時期となっていることから、現在の利用ニーズに合った便器の洋式化及び多目的トイレのバリアフリー改修を年次的に進めている。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 多目的トイレの設置スペースの制約に対応するため、コンパクト設計の「コンパクトバリアフリートイレパック」を設置するとともに、子育て世代向けのベビーシートを整備するもの。 また、年次的に進めている洋式トイレ化の取組として、中央トイレの便器1箇所を洋式化する。</p> <p>【内訳】 委託料 令和8年度打吹公園内多目的トイレ設備整備業務 10,450千円 [委託料] 中央トイレ（多目的トイレ） 1箇所 5,225千円 樺の平トイレ（多目的トイレ） 1箇所 5,225千円</p> <p>工事請負費 令和8年度打吹公園中央トイレ改修工事 655千円 [工事費] 中央トイレ（女子トイレ便器洋式化） 1箇所 655千円</p>							
							
主な特定財源（名称、金額 等）							
【地方債】 こども・子育て支援事業債 9,900千円							

担 当 課	管理計画課	施 策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事 業 名	まちづくり管理					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 2 公園費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
7,601	5,225				4,700		525
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 市内の公衆トイレ施設について、利用者が安心して利用できる施設への環境整備を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 本市の公衆トイレ施設は、建築年数経過に伴う施設の改修時期となっていることから、現在の利用ニーズに合った便器の洋式化及び多目的トイレのバリアフリー改修を年次的に進めている。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 多目的トイレの設置スペースの制約に対応するため、コンパクト設計の「コンパクトバリアフリートイレパック」を設置するとともに、子育て世代向けのベビーシートを整備するもの。</p> <p>【内訳】 委託料 令和8年度さわやかトイレ (多目的トイレ) 設備整備業務 5,225千円 [委託料] さわやかトイレ (多目的トイレ) 1箇所 5,225千円</p>							
							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【地方債】 公共施設等適正管理事業債 4,700千円							

担当課	管理計画課	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事業名	公園管理事業					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 2 公園費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,849	3,259				2,900		359
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 毎年実施している専門業者による遊具定期点検の結果、使用中止となった遊具の撤去更新を行い、安心して遊べる安全な公園環境の整備を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 遊具定期点検の結果を受け、適宜修繕対応しているが、修繕対応困難で使用不可と判断された遊具については、使用中止として撤去更新を行うこととしている。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 使用中止となっているブランコ1基 (天神野公園) とすべり台1基 (湊町公園) を撤去更新する。</p> <p>【内訳】 工事請負費 令和8年度天神野公園遊具取替工事 (2連ぶらんこ) 1,688千円 令和8年度湊町公園遊具取替工事 (すべり台) 1,571千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
<p>【地方債】 こども・子育て支援事業債 2,900千円</p>							

担当課	管理計画課	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事業名	都市公園管理					予算説明書ページ	22
補正予算	会計 一般	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 2 公園費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
18,139	13,711				12,300	1,000	411
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 利用者の多い公園施設において、幼児を含む多様な子どもたちが、安心安全に遊べるインクルーシブな複合遊具を設置して、安心して遊べる安全な公園環境の整備を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 幼児が利用できる遊具整備を求める声が増加していることから、利用者ニーズに沿った公園施設の環境整備が求められている。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 幼児を含む多様な子どもたちを対象とするインクルーシブな複合遊具を設置する。</p> <p>インクルーシブ遊具・・・障害の有無、年齢、身体能力に関わらず、すべての子どもと一緒に安全に楽しめる「包括的な」遊具。車椅子対応のスロープや、身体を支える背もたれ付きブランコなど、誰もが利用できるデザイン（ユニバーサルデザイン）が特徴。</p> <p>【内訳】 工事請負費 令和8年度都市公園インクルーシブ遊具設置工事（七峰公園） 5,123千円 令和8年度都市公園インクルーシブ遊具設置工事（上灘中央公園） 8,588千円</p>							
 <p style="text-align: center;">七峰公園</p>				 <p style="text-align: center;">上灘中央公園</p>			
主な特定財源（名称、金額 等）							
<p>【地方債】 こども・子育て支援事業債 12,300千円 【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 1,000千円</p>							

担当課	建設課		施策	25_災害に強いまちづくりの推進			
事業期間	令和8年度～ 終期末定			区分	新規		
事業名	河川総務及び維持					予算説明書ページ	21
補正予算	会計 一般	款 8 土木費	項 3 河川費	目 1 河川総務費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
	91,864	500		250			250
目的・意図							
<ul style="list-style-type: none"> 流域治水の一環として、個人宅への雨水貯留タンクの普及を図り、さらなる流域治水の取り組みを推進する。 雨水を貯留することで河川の氾濫を遅らせ、避難する時間を少しでも稼ぐ。 取組全体を通して、防災意識の向上を図り、住民の確実な避難行動につなげる。 							
経過・背景							
<ul style="list-style-type: none"> 近年、短時間に降る猛烈な雨（ゲリラ豪雨）による被害が大きな課題となっている。 雨水が一気に下水道や水路へ流れ込むと、排水能力を超えてしまい、浸水被害が発生しやすくなる。 気候変動による水害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者だけでなく、行政、企業、住民など流域のあらゆる関係者が協働して、集水域から氾濫域まで流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の推進が重要となっている。 							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> 降雨初期の雨水を各家庭で一時貯留し、下水道や水路への流入タイミングを分散させて遅らせる「ピークカット」を行うことで、市街地の浸水被害（水路からの溢水など）を軽減する。 取組全体を通して、市民の防災意識の向上が図られる。 							
事業内容							
市内の住宅等に雨水貯留タンクを設置する個人に対し、補助を行うもの。							
家庭用タンクの設置例				県が打吹小学校に設置したタンク			
							
内訳							
<ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留タンク設置事業費補助金 500千円 想定する雨水貯留タンク：120～180リットルのタンク 6万円程度（材料費2～3万円+設置費2～3万円） ※県・市・購入者が1/3を負担（1個人あたりの補助上限：市補助2万円、県補助金2万円） 							
特定財源							
【県】流域治水関連事業費補助金 250千円							
全体事業費（令和8年度のみを計上）							
財源内訳		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降		
	事業費		500				
	国庫支出金						
	県支出金		250				
	地方債						
	その他						
一般財源			250				

担 当 課	地域整備課	施 策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事 業 名	土地改良					予算説明書ページ	19
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 5 農地費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
52,161	1,260				800		460
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 農地の保全及び農業経営の発展のため、農業生産の基盤となる農地や農業用排水施設、農道など土地改良施設の整備、維持管理を行う団体を対象に、改良事業費の一部負担を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 久米ヶ原土地改良区において、農業用水の供給を担うポンプ場の集中管理システムは導入から長期間が経過し、制御施設や通信設備の老朽化による事故発生等により農業生産に支障を来しているため、集中管理システムの更新を行い、運用効率の向上及び施設の長寿命化を図るもの。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 久米ヶ原土地改良区が事業主体となって施工する集中管理システムの更新工事に要する費用の一部を補助するもの。</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 ・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金 (久米ヶ原土地改良区) 1,260千円 事業費7,000千円×補助率18% (国50%・県18%・市18%・地元14%)</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【地方債】 土地改良事業債 800千円							

担当課	建築住宅課		施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進			
事業期間	令和8年度～		区分	拡充			
事業名	建築指導					予算説明書ページ	21
補正予算	会計一般	款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	2 建築指導費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	51,817	財源内訳	260	3,374			3,371
目的・意図							
民間建築物の耐震化を促進するため、古い基準で建築された建物の耐震診断、改修設計、耐震改修などに要する費用、及び危険なブロック塀の耐震対策に要する費用を支援し、震災に強いまちづくり、市民の生命、健康及び財産の保護を図るもの。							
経過・背景							
10月開催予定の「ぼうさいこくたい2026 in鳥取」の目指す自助を進めるため、経済的な理由などで耐震化が困難な住宅においても耐震対策が実施できるよう、県が補助率及び補助上限額の拡充を行ったことを踏まえ、本市においても震災に強いまちづくりの実現を目指して増額補正するもの。							
事業効果							
民間建築物の耐震化により地震発生時の被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守る。							
事業内容							
震災に強いまちづくり促進事業により、住宅、建築物及びブロック塀の耐震化等を促進するため支援を行う。							
内訳							
負担金補助及び交付金(補助金)							
・震災に強いまちづくり促進事業費補助金							
※決算見込額 42,773千円 - 現計予算額 35,768千円 = 今回補正額 7,005千円							
《補正額の内訳》7,005千円							
[戸建住宅]							
※①④補助対象上限額引上げ(国補助制度拡充に伴うもの)							
※①②③⑤⑥⑦について補助率10/10へ拡充し、補助上限額まで定額支援を行う。							
(補助率10/10は、R8～R10年度までの時限措置)							
①耐震診断 補助上限額@133千円→204千円×5件=355千円							
②改修設計 補助上限額@160千円→320千円×10件=1,600千円							
③耐震改修(建替えを除く) 補助上限額@1,400千円→1,750千円×13件=4,550千円							
④屋根瓦耐風改修 補助上限額@552千円→690千円×0件=0千円							
⑤耐震シェルター(高齢者等対象) 補助上限額@800千円→1,000千円×0件=0千円							
⑥耐震ベッド(高齢者等対象) 補助上限額@500千円→625千円×0件=0千円							
⑦居室単位耐震改修 補助上限額@1,000千円→1,250千円×2件=500千円							
※申請状況により、事業内で各補助メニューの件数を調整して枠内執行する。							
特定財源							
【国】社会資本整備総合交付金							
決算見込額 15,463千円 - 現計予算額15,203千円 = 今回補正額260千円							
【県】鳥取県震災に強いまちづくり促進事業補助金							
決算見込額 13,638千円 - 現計予算額10,264千円 = 今回補正額3,374千円							
全体事業費(令和8年度のみを計上、震災に強いまちづくり促進事業費補助金は当初予算計上分を含む)							
財源内訳		全体計画	R8年度	R9年度	R10年度以降		
	事業費	42,773	42,773				
	国庫支出金	15,463	15,463				
	県支出金	13,638	13,638				
	地方債						
	その他	9,768	9,768				
	一般財源	3,904	3,904				

担当課	教育総務課		施策	13_生きる力を育む学校教育の充実			
事業名	小学校運営(総務)					予算説明書ページ	22~23
補正予算	会計 一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
200,977	5,160	財源内訳			3,100		2,060
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 倉吉市が設置する小学校を管理運営するため、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、児童・教職員に良好な教育環境を確保するもの。</p> <p>【経過・背景】 ・情報セキュリティ対策のため、USBデバイス管理の強化が求められている。 ・経年劣化により危険性があるものについて、安全な学校環境の整備が求められている。 ・プロジェクターを利用した授業における児童の視認性が低下し、見づらい状況にある。</p>							
事業の概要(積算根拠等)							
<p>【事業内容】 ・既存サーバー機の設定変更によりUSBデバイス管理を強化し、学校の情報セキュリティ対策を推進するもの。 ・経年劣化により剥離の危険性のある上北条小学校屋内運動場の箱樋について、改修に向けた設計を行うもの。 ・プロジェクターを使用した授業における児童の視認性の確保のため、河北小及び小鴨小の普通教室の一部に遮光カーテンを設置するもの。</p> <p>【内訳】 役務費 284千円 ・既存サーバー設定変更手数料 USBデバイス管理設定 委託料 3,540千円 ・上北条小学校屋内運動場箱樋他改修工事設計業務 備品購入費 1,336千円 ・河北小(12カ所)・小鴨小(23カ所)遮光カーテン</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】公共施設等適正管理事業債 3,100千円							

担当課	教育総務課		施策	13_生きる力を育む学校教育の充実			
事業名	中学校運営(総務)					予算説明書ページ	23
補正予算	会計 一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
88,976	3,269	財源内訳					3,269
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 倉吉市が設置する中学校を管理運営するため、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、生徒・教職員に良好な教育環境を確保するもの。</p> <p>【経過・背景】 ・情報セキュリティ対策のため、USBデバイス管理の強化が求められている。 ・体育館の暗幕について、経年劣化により利用に支障をきたしている。</p>							
事業の概要(積算根拠等)							
<p>【事業内容】 ・既存サーバー機の設定変更によりUSBデバイス管理を強化し、学校の情報セキュリティ対策を推進するもの。 ・経年劣化した暗幕を取り替え。</p> <p>【内訳】 役務費 267千円 ・既存サーバー設定変更手数料 USBデバイス管理設定 備品購入費 3,002千円 ・西中体育館暗幕</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課	施策	13_生きる力を育む学校教育の充実				
事業名	小学校教育研修					予算説明書ページ	23
補正予算	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
補正前	補正額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,043	375			187		100	88
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 新聞記事を教材として活用することで、児童が社会への関心を高め、考えを整理し、他者に伝える力を育む。また地域の話題やできごとに触れることで郷土愛を醸成し地域課題を自ら考え、行動できる子どもたちの育成を目指す。</p> <p>【経過・背景】 令和7年度に学習支援サイトについて希望校を募り、トライアル導入を行った。その中から特に年間アクセス数が多かった学校を選出し、実践指定校としてサイト活用につなげるもの。</p>							
事業の概要(積算根拠等)							
<p>【事業内容】 市内小学校に「日本海新聞forスタディ」の機能が利用できるIDを付与し、新聞記事を活用した学習を推進する。 対象校：5校(西郷小、明倫小、上灘小、久米小、上北条小) 提供者：(株)新日本海新聞社</p> <p>【内訳】 使用料及び賃借料 375千円 (5校の小学3～6年生567人×660円) = 374,220円)</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p>【県】郷土愛醸成デジタル地域情報活用事業費補助金(1/2) 187千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 100千円</p>							

担当課	学校教育課	施策	13_生きる力を育む学校教育の充実				
事業名	中学校運営(学校)					予算説明書ページ	23
補正予算	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費
補正前	補正額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
25,547	17						17
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 中学生が自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、社会への興味・関心を高めるとともに、少し先の目標を考えることができる機会とする。地域の大人や大学生が、中学生にとっての身近なロールモデルとなって参加することで地域の学校に対する興味・関心を高める。</p> <p>【経過・背景】 様々な生き方や価値観に触れて、自分自身の将来の目標を持つことが求められている。</p>							
事業の概要(積算根拠等)							
<p>【事業内容】 中学校トークプログラムレクリエーションに参加される学生や地域住民等への案内送付 中学校トークプログラムレクリエーション保険料負担 対象年代：中学1年生から3年生 連携する部署、団体等：鳥取看護大学、鳥取短期大学、倉吉総合看護専門学校、地域住民等</p> <p>【内訳】 役務費 17千円(郵送代、レクリエーション保険料)</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課		施策	13_生きる力を育む学校教育の充実			
事業名	中学校教育研究					予算説明書ページ	23
補正予算	会計 一般	款 10 教育費	項 3 中学校費	目 2 教育振興費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,331	3,650					3,600	50
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 各教育関係機関や団体に対する支援を行い、義務教育の充実を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 全国中学校体育大会相撲実行委員会から負担金の要請があったもの。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 令和8年度全国中学校体育大会第56回全国中学校相撲選手権大会の成功に向けて事業費を負担する。</p> <p>大会名 : 令和8年度全国中学校体育大会第56回全国中学校相撲選手権大会 期日 : 令和8年8月22日(土)～23日(日) 場所 : 鳥取県立体育文化会館 来訪者数 : 役員、選手、保護者他関係者 約1,000名</p> <p>【内訳】 負担金補助及び交付金 3,650千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 3,600千円							

担当課	社会教育課		施策	14_社会全体が協働した社会教育の推進と学び続ける環境づくり			
事業名	地域学校協働活動推進事業					予算説明書ページ	24
補正予算	会計 一般	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 生涯学習費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,427	120			80			40
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちの学びや育ちを支え、学校を核とした地域づくりを推進するコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図り、地域と学校との連携協働を円滑かつ効果的に進めるため、各小中学校に配置されている地域コーディネーターを育成するもの。</p> <p>【経過・背景】 地域の教育力の低下や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校だけではなく社会全体で子どもの育ちを支えていくことが求められている。 学校と地域が同じ目標・ビジョンを共有し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくことが必要となっている。</p>							
事業の概要 (積算根拠 等)							
<p>【事業内容】 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の要である地域コーディネーターを対象に、必要な知識の習得と能力の向上を図るため、先進地から講師を招聘し研修を実施する。</p> <p>【内訳】 報償費 講師謝金 (旅費含む) 120千円</p>							
主な特定財源 (名称、金額 等)							
【県】学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 補助対象額120千円×補助率2/3=80千円							

担当課	社会教育課		施策	14_社会全体が協働した社会教育の推進と学び続ける環境づくり				
事業名	体育施設維持管理						予算説明書ページ	25
補正予算	会計 一般	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 2 体育施設費				
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
	2,642	20,260			3,200	12,500	4,560	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 体育施設等の老朽化・経年劣化による不良箇所の予防保全（点検・修繕）を行い、施設利用者が安全安心して利用できるよう環境を整えるもの。</p> <p>【経過・背景】 経年劣化による破損等が生じ修繕等が必要となっており、利用者からの要望に応じ修繕を行うもの。 令和9年5月末で陸上競技場第3種公認期間が満了となるため、公認基準に適合する修繕等を行い、公認を維持するもの。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水によりテニスコートトイレが使用不可であり、利用者の利便性等を図るため、給水管を修繕する。 ・体育施設の長寿命化を図るため、健全度調査を実施し、劣化や損傷の状況などの確認を行い、改修等の必要性について判断する。 ・関金農林漁業者等健康増進施設の雨漏りを修繕するため、工事設計業務を行う。 ・陸上競技場第3種公認を更新するため、検定測量及び整備工事を行うとともに、必備品を購入する。 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費 3,075千円 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉スポーツセンターテニスコート系統給水管漏水修繕業務 役務費 340千円 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市営陸上競技場第3種公認検定料 委託料 6,971千円 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市営体育施設健全度調査業務 2,937千円 ・関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事設計業務 3,566千円 ・倉吉市営陸上競技場第3種公認更新検定測量業務 468千円 工事請負費 6,149千円 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市営陸上競技場第3種公認更新に伴う整備工事 備品購入費 3,725千円 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市営陸上競技場第3種公認検定必備品（超音波風速計2台） 								
主な特定財源（名称、金額 等）								
<p>【地方債】 公共施設等適正管理事業債 3,200千円（≒3,566千円×90%）</p> <p>【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 12,500千円</p>								

担 当 課	図書館		施 策	14_社会全体が協働した社会教育の推進と学び続ける環境づくり			
事 業 期 間	令和8年度		区 分	新規			
事 業 名	パークスクエア管理					予算説明書ページ	24
補正予算	会計 一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
13,707	93,130	財源内訳			83,600	9,000	530
目的・意図							
市民が気軽に利用でき、来場者や利用者の安心・安全で快適な利用環境を提供するため、倉吉パークスクエア広場や遊具のある多目的広場等の運営・施設管理を適切に行うもの。							
経過・背景							
<p>○これからの倉吉パークスクエア多目的広場遊具のあり方検討会及びプロポーザル選定会 多目的広場遊具は開設から25年を迎え、日本公園施設業協会が定めている基準を満たしていない遊具も多い。一方で、令和8年3月に策定された「倉吉市こども計画」においては、「安心・安全な環境づくり」の主な取組のひとつに公園の整備として、特に、こどもたちが安全に公園を利用するための既存遊具等の更新や改修について、中・長期的な視野で有効とされる場合は、機能強化を含めて検討した上で整備を行うとされているもの。</p> <p>○倉吉パークスクエア多目的広場トイレ改修工事設計業務 令和5年度の旧リス舎周辺再整備時に、美術館側のトイレ改装工事を行ったものに準じ、倉吉市教育施設等長寿命化計画に基づき、倉吉パークスクエア多目的広場トイレの長寿命化を図るもの。</p> <p>○倉吉パークスクエア照明設備LED化改修工事 蛍光灯の製造終了に対応するため、全体を年次計画的にLED化整備を行ってきた。倉吉パークスクエア東側の県立美術館側の更新を終え、残りの西側を整備するもの。 [経過] 令和5年度：倉吉交流プラザ・パークスクエアLED化改修工事設計業務 令和6年度：倉吉パークスクエアLED化改修工事（交流プラザ東側） 令和7年度：倉吉交流プラザLED化改修工事（～令和8年度繰越 令和8年6月工事完了予定） 令和8年度：倉吉パークスクエアLED化改修工事（交流プラザ西側）</p>							
事業効果							
<p>○子どもが安心・安全に多目的広場遊具を利用し、楽しみ、いきいきと健やかに育つ。 ○施設の長寿命化を図る。 ○施設の省エネ性の向上及び脱炭素化を図る。</p>							
事業内容							
<p>○これからの倉吉パークスクエア多目的広場遊具のあり方検討会及びプロポーザル選定会 検討会においてアンケート内容等の検討を行い、その結果を反映したプロポーザル選定会を行うもの。 検討会2回、プロポーザル選定会2回 遊具更新期間：令和9年度（予定）</p> <p>○倉吉パークスクエア多目的広場トイレ改修工事設計業務 施設の長寿命化を図るための改修工事に係る設計を行うもの。 工事期間：令和9年度（予定）</p> <p>○倉吉パークスクエア照明設備LED化改修工事 省エネ性の向上及び脱炭素化を推進するため、倉吉パークスクエア（交流プラザ西側）の照明設備をLED化する。 工事期間：令和8年7月～令和8年12月</p>							

内訳					
<ul style="list-style-type: none"> ・報償金 100千円 これからの倉吉パークスクエア多目的広場遊具のあり方検討会及びプロポーザル選定会 検討会 @ 5千円×5人×2回(5～10月) ※保護者等アンケート実施含む プロポーザル選定会 @ 5千円×5人×2回(1～3月) ・委託料 倉吉パークスクエア多目的広場トイレ改修工事設計業務 1,766千円 倉吉パークスクエア照明設備LED化改修工事監理業務 5,343千円 ・工事請負費 倉吉パークスクエア照明設備LED化改修工事 85,921千円 					
特定財源					
<p>【地方債】 公共施設等適正管理推進事業債 1,500千円 (≒1,766千円×充当率90%) 脱炭素化推進事業債 82,100千円 (≒ (5,343千円+85,921千円) × 充当率90%) 【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 9,000千円</p>					
全体事業費					
		全体計画	R 8年度	R 9年度	R 10年度以降
	事業費	93,130	93,130		
財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	83,600	83,600		
	その他	9,000	9,000		
	一般財源	530	530		

担当課	図書館		施策	14_社会全体が協働した社会教育の推進と学び続ける環境づくり				
事業名	交流プラザ総務管理						予算説明書ページ	24
補正予算	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費	
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
43,306	2,013					2,000	13	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 市民の交流・学習の拠点として、来場者・利用者の安心・安全で快適な利用環境を提供するため、各種講演会や研修会のほか様々なイベント会場として利用される倉吉交流プラザの運営・施設管理を適切に行うもの。</p> <p>【経過・背景】 平成13年に開設した倉吉交流プラザの来場者・利用者の安心・安全で快適な利用環境を提供するよう維持管理を行ってきた。図書館内は録画記録機能がある安全管理カメラへの更新を行ったが、施設内にはカメラ未設置の箇所や録画機能を備えていないカメラがあることが判明したため、この度整備を行うもの。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】 倉吉交流プラザ出入口及び2階廊下は安全管理カメラが未設置であったため、来館者及び2階の施設利用者の安全確保のため、安全管理カメラを新たに6台設置するもの。 また、こども交流室及び自習室として開放する場合のある第1研修室には、安全管理カメラを設置していたが録画記録機能がなく、遡っての再確認ができないため、既設の2台のカメラを録画機能があるものへ取替えるもの。</p> <p>【内訳】 需用費 修繕料 2,013千円 新設：倉吉交流プラザ玄関、リフレッシュコーナー、2階廊下（計6台） 取替：こども交流室、第1研修室（計2台）</p>								
主な特定財源（名称、金額 等）								
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 2,000千円								

担当課	博物館		施策	16_文化・芸術活動の振興				
事業名	緑の彫刻賞						予算説明書ページ	24
補正予算	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 博物館費	
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
0	491						491	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 昨年の鳥取県立美術館開館を契機とし、同館と本市が持つ文化遺産である野外彫刻を一体的に発信するガイドマップを作成するもの。来場者を市街地へと誘い、市内全域を「屋根のない美術館」として回遊を促し、観光振興及び地域経済の活性化を図るもの。</p> <p>【経過・背景】 鳥取県立美術館開館の効果により、緑の彫刻プロムナードを中心とした野外彫刻に注目が集まり、野外彫刻の解説依頼を受けることが増えている。市内の野外彫刻を掲載したマップ配布は、学校名変更などによる地図のリニューアル要望も多い。</p>								
事業の概要（積算根拠 等）								
<p>【事業内容】 鳥取県立美術館の野外彫刻等を追加し、市内の野外彫刻を掲載したマップをリニューアル作成する。</p> <p>【内訳】 需用費 印刷製本費 倉吉野外彫刻ガイドマップ 491千円</p>								
主な特定財源（名称、金額 等）								

担当課	博物館	施策	16_文化・芸術活動の振興			
事業期間	令和8年度		区分	新規		
事業名	タイムトラベルSHOWA～遙かなまちへ～展				予算説明書ページ	24
補正予算	会計一般	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 4 博物館費		
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他 一般財源
	0	財源内訳				1,000 704
目的・意図						
<p>昭和100年及び、映画「遙かな町へ」の一般公開を記念した展覧会を開催する。</p> <p>昭和元年から数えてちょうど100年にあたることと、映画「遙かな町へ」の公開に合わせ、激動の昭和時代を振り返り、現代社会が見失いかけている「家族の絆」や「地域の繋がり」を再考し、写真家・高木啓太郎氏がとらえた「昭和の生きた記録」と人形作家・安部朱美氏が粘土で紡ぐ「家族の情景」を融合させ、失われつつある昭和の日常生活や精神文化を次世代へ継承する。</p>						
経過・背景						
<p>昭和元年から数えてちょうど100年にあたることと谷口ジロー氏原作の映画「遙かな町へ」の令和8年秋の一般公開を記念し、映画の舞台である昭和の倉吉を思い起こさせる写真と人形の展示を行うもの。</p>						
事業効果						
<p>昭和の風景や人形を通じ、高齢層には懐かしく、若年層には「レトロ」として新鮮な昭和文化をもって世代間コミュニケーションを活性化させる。また郷土愛を醸成するきっかけとする。映画の舞台背景を再現することで作品への理解を深め、訪れるファンを魅了し、昭和100年の節目と映画公開の話題性により広域からの集客を図り、地域観光のブランド化と周辺への経済波及効果をもたらす。</p>						
事業内容						
<p>写真家・高木啓太郎氏から、令和8年公開予定の映画「遙かな町へ」の原作者・谷口ジロー氏へ提供された写真を含め、昭和の日常生活や年中行事を切り取った写真と、米子市在住の人形作家・安部朱美氏の「昭和の家族」をテーマとしたノスタルジーを感じさせる人形作品を展示する。</p> <p>昭和100年／映画「遙かな町へ」一般公開記念 「タイムトラベルSHOWA～遙かなまちへ～高木啓太郎写真・安部朱美創作人形展」 会期（予定）：令和8年10月24日（土）～11月29日（日）</p>						
内訳						
報酬	574千円	会計年度任用職員報酬（展示監視員）				
共済費	8千円	社会保険料（展示監視員）				
報償費	194千円	報償金（展示・イベント講師謝金194千円）				
旅費	14千円	通勤手当相当分14千円（展示監視員通勤手当）				
需用費	165千円	消耗品費30千円（展示資材） 印刷製本費135千円（ポスター、チラシ）				
役務費	405千円	通信運搬費308千円（作品輸送） 手数料47千円（立看板） 作品保険料50千円				
委託料	344千円	展示作業委託料				
特定財源						
【その他】博物館入館料 1,000千円						
全体事業費						
	全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降		
	事業費	1,704	1,704			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	1,000	1,000			
	一般財源	704	704			

担当課	学校給食センター		施策	13_生きる力を育む学校教育の充実			
事業名	給食センター					予算説明書ページ	25
補正予算	会計 一般	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 3 学校給食センター費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
494,353	13,088		21,308	5,535	2,800	21,098	△ 37,653
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 児童生徒の心身の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため、市内の小中学校10校と中学校5校に安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食を調理し提供するもの。</p> <p>【経過・背景】 引き続き物価高騰や米価の高騰、さらに中東情勢の不安定化による燃料費の高騰等を踏まえ、適正な1食当たり単価を見直し、学校給食費を改定するもの。 また、耐用年数を超過し老朽化しているボイラー設備について、学校の夏季休業期間を中心に令和8年度はボイラー改修工事（2基の更新等）を実施し、今後は関連するボイラー配管改修工事（蒸気配管等）を実施する計画である。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 小学校児童の給食費は国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」による交付金を活用し、保護者負担の大幅な減額を図り、中学校生徒の給食費は市独自の支援を行い、新たな保護者負担は求めないこととする。 また、今後実施予定のボイラー配管改修工事について、必要な設計業務を行うもの。</p>							
		現 行	改 定 後				
小学校	給食費単価	353円	383円				
	交付金等	70円	297円				
	保護者負担額	283円	86円				
中学校	給食費単価	392円	422円				
	交付金等	70円	100円				
	保護者負担額	322円	322円				
<p>【内訳】 需用費 賄材料費（主食、牛乳、副食食材費） 6,756千円（物価高騰の追加影響分） 委託料 設計業務委託料 3,173千円（ボイラー配管改修工事） 備品購入費 機械器具費 3,159千円（米飯コンテナ、大型冷蔵庫）</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		21,308千円					
【県】鳥取県学校給食費負担軽減交付金（追加分）		5,535千円					
【地方債】公共施設等適正管理事業債		2,800千円（≒3,173千円×充当率90%）					
【その他】学校給食費（小学校児童、教職員等の追加分）		36,014千円					
倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金		△14,916千円※					
※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の充当に伴う財源組替							

担当課	議会事務局		施策	27_効果的・効率的な行政運営の推進			
事業名	議会事務局費					予算説明書ページ	15
補正予算	会計 一般	款 1 議会費	項 1 議会費	目 1 議会費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
164,436	781						781
事業の目的・意図							
<p>【目的・意図】 議会が、市政に関する監視、調査、提言を的確に行うとともに、議長をはじめ各議員が、その役割を果たし、本会議、委員会等の議事運営を円滑に行うことができるようにするもの。</p> <p>【経過・背景】 本市への企業誘致や広域連携、国内外の公式訪問や表敬訪問など、議長室は「市の顔」としての役割を担っている。現在の老朽化した設備を刷新し、本市を訪れる方々を万全の態勢でお迎えできる「おもてなしの環境」を整備するもの。</p>							
事業の概要（積算根拠 等）							
<p>【事業内容】 議長室において、国内外の賓客や陳情者の接遇に使用する応接家具一式を更新する。</p> <p>【内訳】 備品購入費 781千円（応接ソファ 1人掛け 10台）</p>							
主な特定財源（名称、金額 等）							

令和8年度4月補正予算 債務負担行為の限度額の算出根拠

事 項	期 間	限 度 額	算 出 根 拠
消防ポンプ自動車購入	令和8年度 ～ 令和9年度	40,556千円	公設消防団の使用する消防ポンプ自動車の更新について、受注生産であり契約締結から納入までに1年以上を要するため、債務負担行為を設定するもの。 【債務負担行為】 令和8年度～令和9年度 備品購入費 40,556千円 【更新車両】関金第2分団消防ポンプ車
せきがね湯命館改修設計業務	令和9年度	20,240	建設から31年が経過し、老朽化した「せきがね湯命館」の大規模改修を行う必要があり、改修に係る基本設計・実施設計を行う経費について債務負担行為を設定するもの。 【債務負担行為】 令和9年度 施設改修実施設計 20,240千円
倉吉交流プラザエレベーター更新	令和8年度 ～ 令和11年度	85,987	既設のエレベーター2基が設置から25年経過し、修繕の部品確保等が困難になってきていることからエレベーターの更新をするもの。現在、部品供給問題や人員不足等により全国的に工事の納期遅延が発生している状況を鑑み、2年先の施工を見越して債務負担行為を設定するもの。 【債務負担行為】 令和8年度～令和11年度 修繕料 85,987千円

交付金充当事業一覧（推奨事業メニュー分のみ）

【4月補正の歳入充当事業】

(単位:千円)

予算	所属課名称	款	項	目	大	中	事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
4	企画課	2	1	7	64	1	公共交通利用促進支援事業	12,843		11,843			1,000	0	物価高騰等の影響を受ける市民・交通事業者に対して公共交通の利用促進を通じた支援を行うもの ・路線バス:ICOCA支援、ループバス臨時運行 ・高速バス:運賃割引・広告宣伝への支援
4	地域づくり支援課	2	1	7	64	2	自治公民館照明設備LED化促進事業	8,334		8,334				0	自治公民館の照明器具LED化改修に係る経費の助成を行うもの 補助率 1/3、補助対象経費下限100千円、上限500千円
4	福祉課	3	1	1	7	1	法外扶助(光熱費助成費)	8,746		4,201	4,545			0	生活困窮者等に対し、光熱費を助成(7千円/世帯)、事務費346千円
4	給食センター	10	5	3	2	1	給食センター	0		21,308			△ 14,916	△ 6,392	物価高騰に伴う給食食材費の負担増(財源振替)
計								29,923	0	45,686	4,545	0	△ 13,916	△ 6,392	
														臨時交付金+一般財源	39,294

【これまでの歳入充当事業】

予算	所属課名称	款	項	目	大	中	事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
計								0	0	0	0	0	0	0	
														臨時交付金+一般財源	0

【令和8年度における歳入充当事業の合計】

予算	所属課名称	款	項	目	大	中	事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
計								29,923	0	45,686	4,545	0	△ 13,916	△ 6,392	
														臨時交付金+一般財源	39,294